



IRCFS09-004

2009 年 11 月

違法金融の実態 ーヤミ金相談サイトのテキスト分析ー

早稲田大学消費者金融サービス研究所

1. はじめに

貸金業法改正などの影響で、正規業者の市場が明らかに縮小し、資金供与機能が大きく低下している。

日本貸金業界月次統計資料で、2007 年 4 月と 2009 年 8 月を比較すると、消費者向け無担保貸付残高は、14 兆 7,912 億円から 10 兆 6,293 億円に減少している（月間貸付額では、8,406 億円から 4,790 億円）。2 年半で、貸付残高で約 4 兆円、28%減少し、月間貸付額で約 3,600 億円、43%の減少である。事業者向け無担保貸付は、5,568 億円から 3,216 億円に減少している（月間貸付額では、509 億円から 356 億円）。事業者向け保証付貸付は、7,183 億円から 1,039 億円に減少している（月間貸付額では、613 億円から 35 億円）。

貸金登録業者数も、2007 年 3 月末に 11,832 であったのが、2009 年 8 月には 5,065 にまで減少している（金融庁貸金業関係統計資料）。また、日本貸金業協会（2009b）によれば、協会会員による消費者向け無担保貸付の成約率は、2007 年 9 月の 37.3%から 2009 年 3 月には 26.8%にまで低下している。

他方、過払い金返還請求は急増している。日本貸金業協会（2009b）によれば、過去 3 年間（2006 年度－2008 年度）において、過払い金返還請求の影響は、元本毀損および利息返還金の合計で約 2.4 兆円、引当金計上コストを含めて約 4.4 兆円に達している。消費者金融大手 4 社（アコム、武富士、プロミス、アイフル）の決算資料でも、2004 年 3 月期から 2009 年 3 月期に 4 社合計で発生した返還額は 8,730 億円、付随する貸倒額は 6,220 億円、あわせて 1 兆 5 千億円近くに及んでいる。過払い金返還請求に対する金融機関や投資家の懸念から、資金調達が困難となり、2007 年 9 月にクレディアが民事再生法を申請し受理され、

2009 年 9 月にはアイフルが事業再生 ADR を申請するに至った。

こうした市場縮小の影響は、特に経済的弱者、例えば自営業者、零細企業の就労者、派遣社員に向かっている。すなわち、市場縮小が進む局面で、まず収入が不安定な就労者への貸し渋りが進行した（堂下・内田，2009）。しかし、資金需要は一定にあるので、資金を借りられなくなった経済的弱者（消費者の事業者の双方）が違法金融に走る可能性が高いと推論される。

違法金融に関しては当然のことながらしっかりとした統計は存在しないが、ある程度の実態を示すいくつかのデータや調査がある。本論文では、これらのデータや調査に加えて、今回新たに実施したネット上でのヤミ金相談サイトのテキスト分析に基づいて、違法金融の実態について明らかにし、その上で資金需要者が違法金融に走らないようにするにはどのような方法が有効であるかについて議論をしていく。

2. 違法金融に関するこれまでのデータ・調査

違法金融に関するデータとしては、警察庁のヤミ金融事犯の検挙状況、金融庁、財務局等の無登録業者に係る苦情等受付件数、日本貸金業協会の相談受付におけるヤミ金融被害関連相談がある。その他、違法金融の実態については、これまでに、以下の調査で把握されている。

- ・日本貸金業協会「資金需要者等の現状と動向に関する調査」（2009 年 2 月）
- ・堂下浩、内田治「消費者金融の利用に関する調査」（2006 年～2009 年の各 5 月に実施）
- ・堂下浩、内田治「零細企業による貸金利用調査」（2007 年～2009 年の各 5 月に実施）

（1）警察庁のヤミ金融事犯の検挙状況

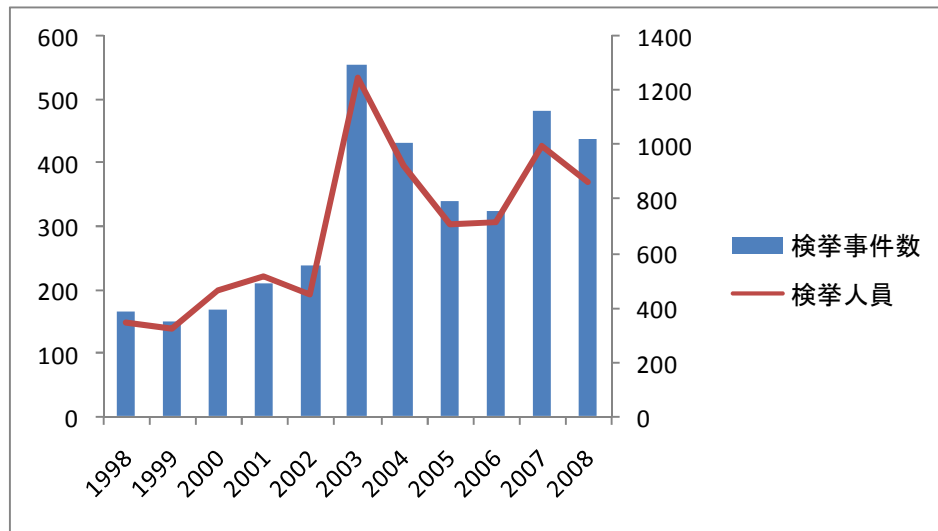
警察庁のヤミ金融事犯の検挙状況では、検挙事件数、検挙人員、被害人員、被害額とも、2003 年～2004 年をピークに減少している（図表 1）。

しかし、ヤミ金融については、手口が巧妙化したことから、こうした数字に現れずに水面下に潜っている部分はかなり大きい可能性がある。

（2）金融庁、財務局等の無登録業者に係る苦情等受付件数

金融庁、財務局等の無登録業者に係る苦情受付件数は、2007 年 14,978、2008 年が 14,243 と、あまり変化はない（図表 3）。

図表 1 警察庁のヤミ金融事犯の検挙状況



	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
検挙事件数	165	149	168	210	238	556	432	339	323	484	437
検挙人員	345	321	461	517	446	1,246	919	706	710	995	860
被害人員等	73,437	62,758	49,663	79,454	122,115	321,841	279,389	173,399	154,511	148,543	141,394
被害額等	260億 6,505万	180億 7,659万	160億 3,609万	186億 7,510万	159億 8,384万	322億 3,639万	348億 2,775万	237億 7,804万	199億 7,536万	303億 8,998万	293億 3,378万

出典：警察庁生活安全局生活環境課(2009)

注1 ヤミ金融事犯としては、出資法（高金利）違反事件及び貸金業法違反事件並びに貸金業に関連した詐欺、恐喝、暴行等の事件を計上している。

注2 被害人員等には、高金利貸付に係る借入者、恐喝等の被害者を計上している。

注3 被害額等には、高金利に係る貸付金額、恐喝等の被害額等を計上している。

図表 2 ヤミ金融事犯の事犯別検挙状況

2007年						
事犯	事件数	検挙人員		検挙法人	被害人員等	被害額等
			うち逮捕			
無登録・高金利事犯	277	527	466	8	79,326	143 億2,484万円
無登録事犯	57	78	65	0	6,141	21 億3,451万円
高金利事犯	113	333	267	7	59,634	161 億9,791万円
その他	37	57	36	5	3,442	1 億3,995万円
総数	484	995	834	20	148,543	293 億3,378万円
2008年						
事犯	事件数	検挙人員		検挙法人	被害人員等	被害額等
			うち逮捕			
無登録・高金利事犯	250	493	422	3	89,866	116 億6,180万円
無登録事犯	59	97	71	1	4,438	13 億3,411万円
高金利事犯	89	207	176	7	45,698	130 億6,666万円
その他	39	63	44	5	1,392	8 億6,397万円
総数	437	860	713	16	141,394	303 億8,998万円

出典：警察庁生活安全局生活環境課(2009)

- 注1 無登録・高金利事犯には貸金業法（無登録）違反及び出資法（高金利）違反で検挙した事件数を、無登録事犯には貸金業法（無登録）違反で検挙した事件数を、高金利事犯には出資法（高金利）違反で検挙した事件数をそれぞれ計上している。
- 注2 その他の検挙は、貸金業法（取立て行為の規制、書面の不交付等）違反、貸金業に関連した恐喝、債権管理回収業に関する法律違反等である。

図表 3 金融庁、財務局等のヤミ金融対策の実施状況

1. 無登録業者に係る苦情等受付件数		
	2007年度	2008年度
合計	14,978	14,243
金融庁	1,000	572
各財務局	6,394	4,669
都道府県	7,584	9,002
2. ヤミ金対策の実施状況		
	2007年度	2008年度
警察当局への情報提供件数	14,978	14,243
金融庁	1,000	572
各財務局	6,394	4,669
都道府県	7,584	9,002
電話警告の実施件数	14,978	14,243
金融庁	1,000	572
各財務局	6,394	4,669
都道府県	7,584	9,002

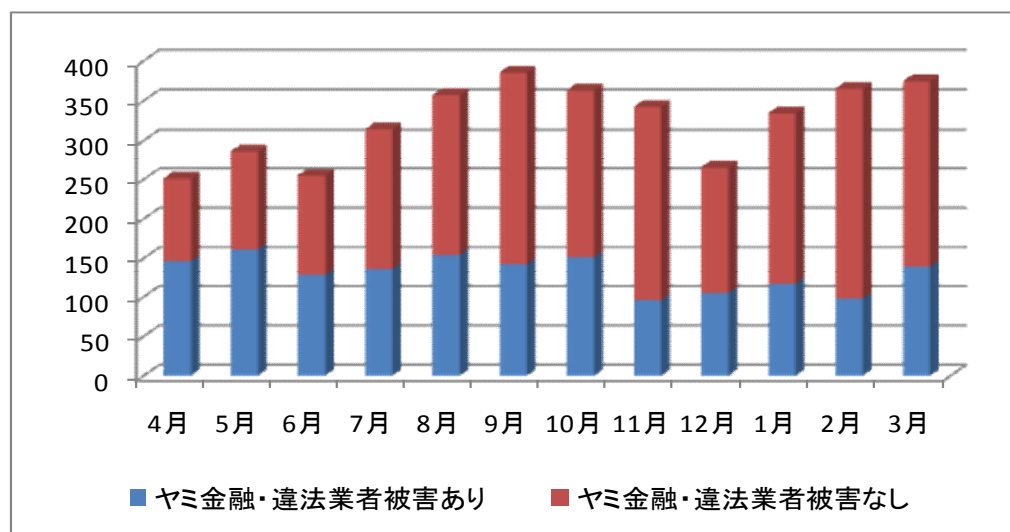
出典：多重債務者対策本部有識者会議（第 13 回、2009 年 5 月

19 日）金融庁提出資料

（3）日本貸金業協会の相談受付におけるヤミ金融被害関連相談

2008 年度に日本貸金業協会相談センターに寄せられた苦情・相談受付（42,211 件）のうち、ヤミ金融に関する相談は 9.2%（3,903 件）を占めており、高い比率となっている（図表 4）。また、件数自体も依然として高止まりの状態である。

図表 4 ヤミ金融被害関連相談



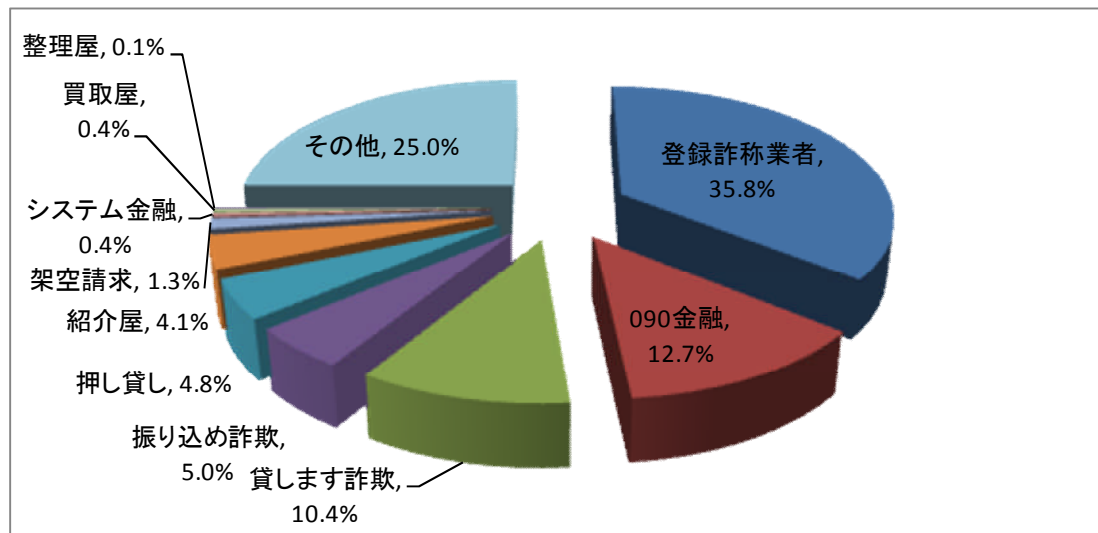
2008年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
ヤミ金融・違法業者被害あり	147	162	129	137	155	143	152	97	106	118	99	140	1585
ヤミ金融・違法業者被害なし	105	125	127	178	203	243	212	246	160	217	267	235	2318
合計	252	287	256	315	358	386	364	343	266	335	366	375	3903
相談数対比	8.4%	9.4%	8.3%	10.2%	11.0%	10.9%	9.4%	10.5%	8.6%	8.7%	8.3%	7.9%	9.2%

出典：日本貸金業協会「月次統計資料（苦情・相談の内容分類）」

注1 「被害あり・なし」とは、金銭的な被害の有無による分類

手口別では、「登録詐称」（35.8%）、「090 金融」（12.7%）、「貸します詐欺」（10.4%）、「振り込め詐欺」（5.0%）、「押し貸し」（4.8%）、「紹介屋」（4.1%）などとなっている（図表 5 および図表 6）。融資の約束後、保証金などと称して手形・小切手・現金を送付させ融資をしないまま連絡を絶ちだまし取るような「貸します詐欺」、融資する前に返済の信用や実績を見せてほしい、と先にお金を振り込ませ実際には融資を実行しないでだまし取るという「振り込め詐欺」等の元手（現金）のいらない詐欺行為が多くなっているようである。

図表 5 ヤミ金融の手口



図表 6 被害あり・被害なし別

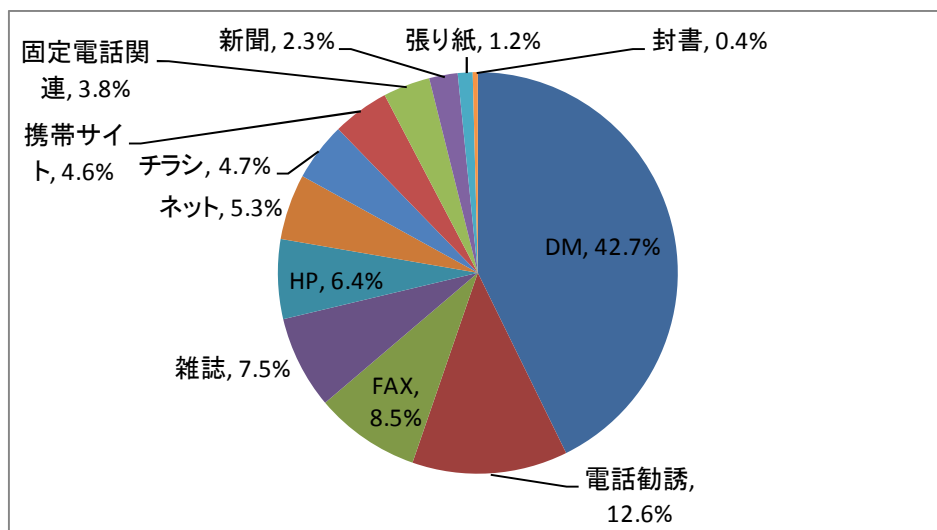
	被害あり	被害なし	合計
登録詐称業者	109	625	734
090金融	170	90	260
システム金融	3	6	9
押し貸し	68	31	99
チケット金融	0	0	0
家具リース金融	0	0	0
紹介屋	19	64	83
整理屋	1	2	3
買取屋	1	7	8
名義貸し	0	0	0
架空請求	6	20	26
貸します詐欺	103	110	213
振り込め詐欺	56	46	102
その他	176	336	512
計	712	1337	2049

出典：日本貸金業協会

対象期間：2008年10月～2009年3月（N=2,049）

ヤミ金融との接触媒体としては、第1に「DM」（42.7%）、ついで「電話による勧誘」（12.6%）である。最近では正規業者（大手）のHPを模倣し、電話番号のみを書き換えたDMが目立っている。フィッシング詐欺の変形とも考えられる。さらに日本貸金業協会相談センターを模倣したチラシも出回っており、記載のフリーダイヤルへ相談を持ちかけると、「適切な業者を紹介する」としてヤミ金を案内される。

図表 7 ヤミ金融と接触するきっかけとなった広告媒体



出典：日本貸金業協会

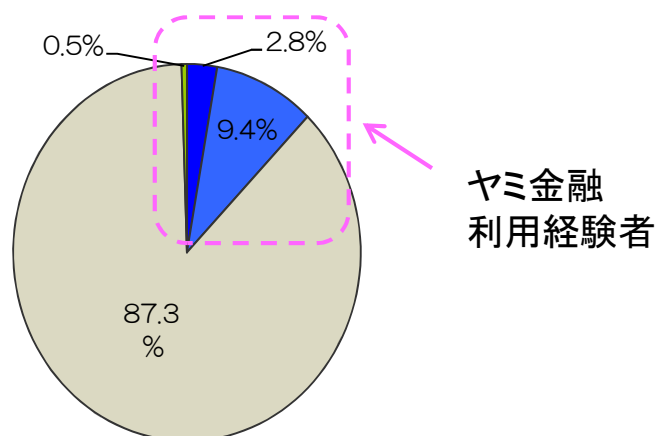
対象期間：2008年9月～12ヵ月（N=811）

（４）日本貸金業協会「資金需要者等の現状と動向に関する調査」

日本貸金業協会（2009a）は、個人（一般消費者）のヤミ金融との接触有無、資金使途、利用した理由について調査している。調査対象は、調査会社に登録しているインターネットモニターで、消費者金融会社、クレジットカード・信販会社等、ヤミ金融等非正規事業者から借入経験のある消費者 3,177 名、ならびに事業性資金を貸金業者から借りている経営者・個人事業主および個人としての借入を事業性資金に流用している経営者・個人自魚種 1,117 名である。調査期間は、消費者向けが 2008 年 11 月 21 日～12 月 2 日、経営者・個人事業主向けが 2009 年 1 月 5 日～1 月 13 日。主な結果は、以下のとおりである。

個人（一般消費者）では、貸金業者からの借入利用者（現在残高あり）のうち 12.2%はヤミ金融利用経験があり、2.8%は現在もヤミ金融被害にあっている（図表 8）。

図表 8 個人（一般消費者）のヤミ金融との接触の有無



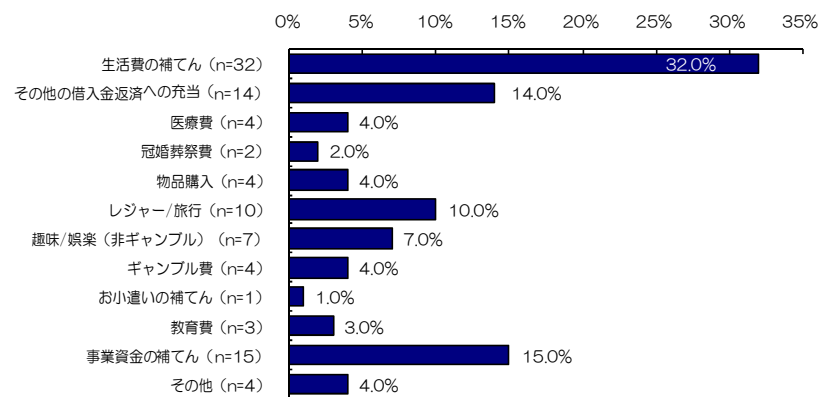
選択肢	回答数	回答率
借りたことがある（現在も残高あり）	24	2.8%
借りたことがある（現在は残高なし）	80	9.4%
借りたことはない	743	87.3%
わからない/答えたくない	4	0.5%
合計	851	100.0%

出典：日本貸金業協会(2009a)

注 1 n=851 は、貸金業者からの借入利用者（現在残高あり）

ヤミ金融の資金使途としては、「生活費の補てん」（32.0%）が最も多く、「事業資金の補てん」（15.0%）、「借入金返済への充当」（14.0%）がそれに続いた（図表 9）。背景として、「生活費の補てん」、「事業資金の補てん」では、健全な資金需要者が必要とする資金の手当てができないことが、「借入金返済への充当」では、適切な家計管理ができないことや、パチンコ依存、買い物癖等を原因とする健全な範囲とは言い難い資金ニーズが考えられる。

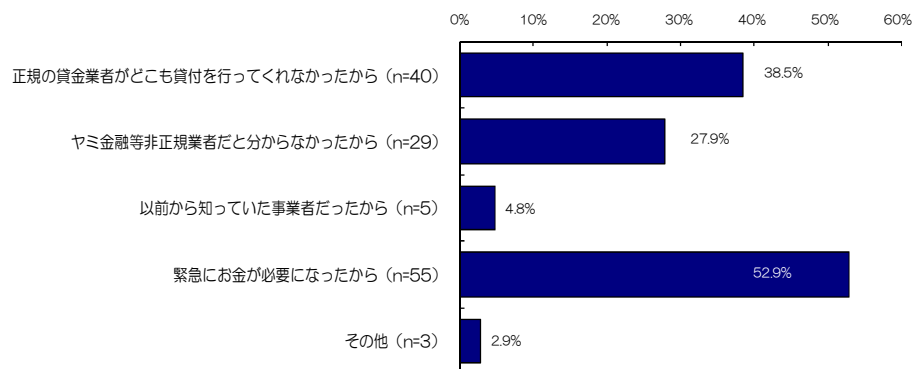
図表 9 個人（一般消費者）のヤミ金融利用経験者の資金使途



出典：日本貸金業協会(2009a)

ヤミ金融の利用理由を見ると、「緊急にお金が必要になったから」(52.9%)が最も多く、ついで、「正規の業者がどこも貸付を行ってくれなかった」(38.5%)、さらに「ヤミ金等非正規業者とは分らなかったから」(27.9%)となっている(図表 10)。

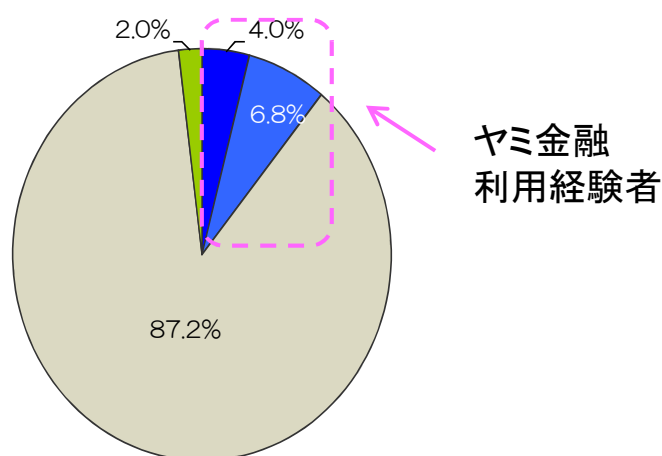
図表 10 個人（一般消費者）のヤミ金融利用経験者の利用理由



出典：日本貸金業協会(2009a)

経営者・個人事業主でも、借入利用者（現在残高あり）の 10.8%はヤミ金融利用経験があり、4.0%は現在も利用中である(図表 11)。

図表 11 経営者・個人事業主のヤミ金融との接触の有無

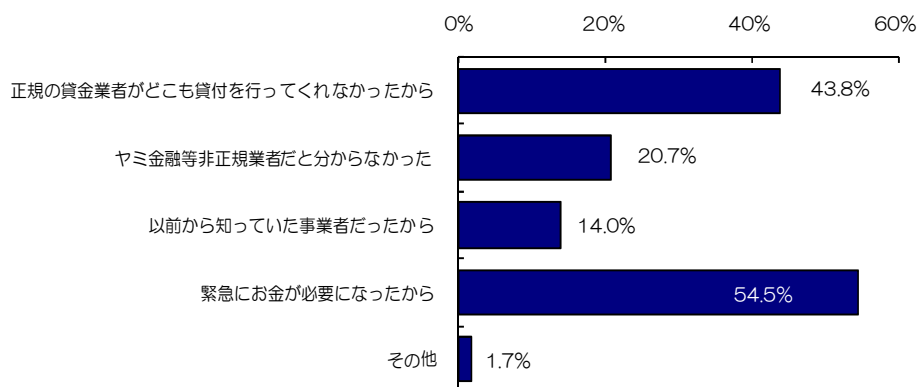


選択肢	回答数	回答率
借りたことがある（現在も残高あり）	45	4.0%
借りたことがある（現在は残高なし）	76	6.8%
借りたことはない	974	87.2%
わからない/答えたくない	22	2.0%
全体	1,117	100.0%

出典：日本貸金業協会(2009a)

ヤミ金融を利用した理由は、「緊急性の資金」（54.5%）が過半数を占め、ついで「正規業者からの借入が不可だった」（43.4%）と続く。90%以上の利用者は、「緊急で資金が必要だが、正規事業者からの借入が不可能」という理由で利用していると思われる。

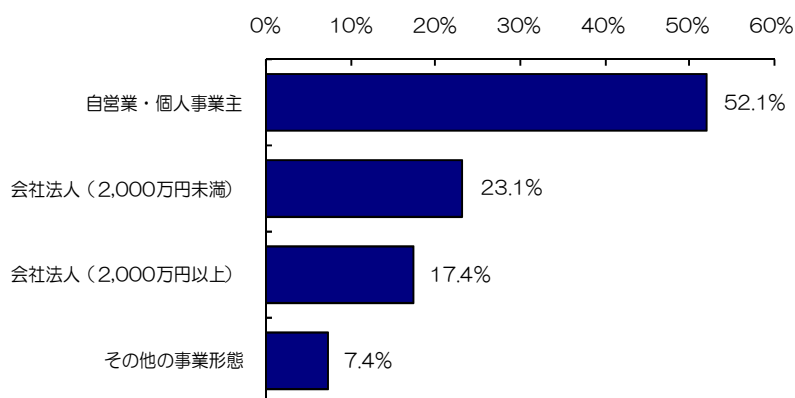
図表 12 経営者・個人事業主のヤミ金融利用経験者の借入理由



出典：日本貸金業界(2009a)

ヤミ金融利用経験者の属性は、個人および中小零細企業の経営者で、75%以上を占めていた（図表 13）。

図表 13 経営者・個人事業主のヤミ金融利用経験者の属性



出典：日本貸金業協会(2009a)

（５）堂下浩、内田治「消費者金融の利用に関する調査」、「零細企業による貸金利用調査」

東京情報大学の堂下浩、内田治らの研究グループは、2006 年から消費者金融利用者へのアンケート調査を、2007 年から零細事業主へのアンケート調査を行っており、その中でヤミ金融の利用実態についても扱っている（堂下・内田，2009；Domoto，2009）。

両調査の実施概要は、以下のとおりである。

「消費者金融の利用に関する調査」

- ・ 調査期間： 2006 年～2009 年の各 5 月に実施
- ・ 調査方法： インターネット調査
- ・ 調査対象： 調査機関に登録している 20 歳以上の一般消費者のうち、①消費者金融の現在利用者、②過去利用者、③未利用だが融資拒絶経験者
- ・ 回答者数： 2007 年調査(13,199 人)、2008 年調査(15,138 人)、2009 年調査(14,832 人)

「零細企業による貸金利用調査」

- ・ 調査期間： 2007 年～2009 年の各 5 月に実施
- ・ 調査方法： インターネット調査
- ・ 調査対象： 調査機関に登録している 20 歳以上の個人事業主と、資本金 2 千万円未満の株式会社経営者（日銀短観の調査対象外となる零細企業）

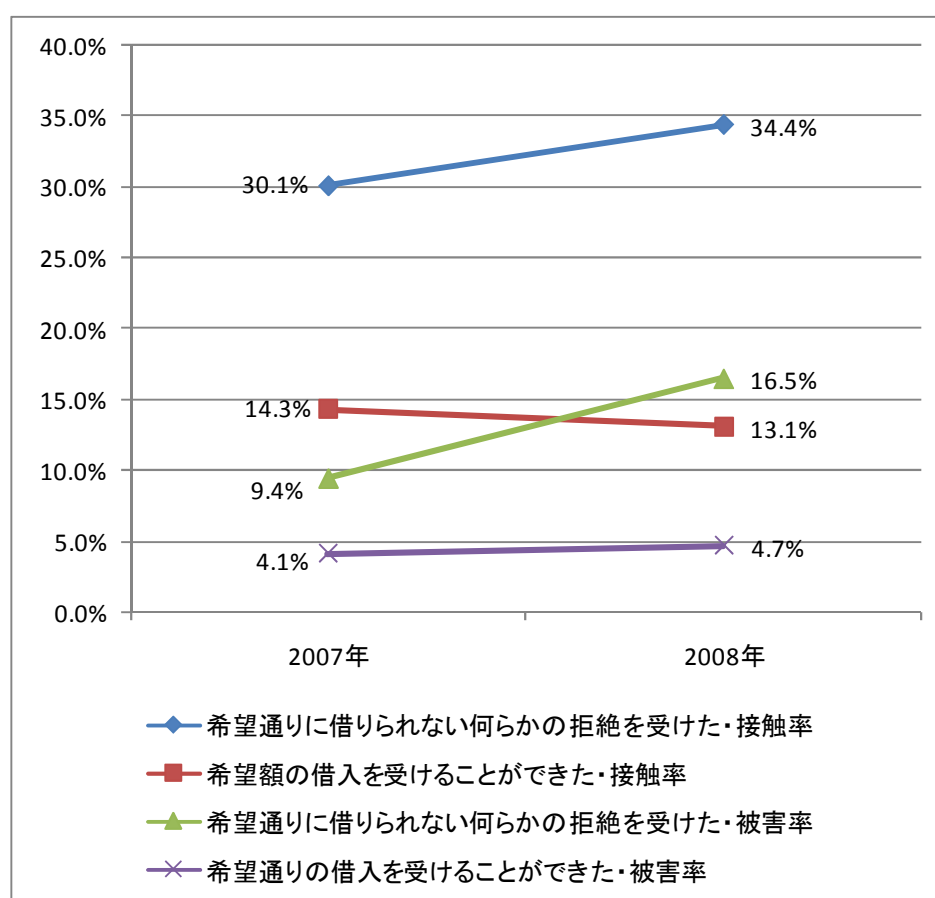
両調査からは、消費者と事業主のいずれについてもヤミ金融との接触率は高まっており、

特に緊急性の高い必要資金の場合に接触率は高くなっていることが見てとれる。また、クレジットカードのショッピング枠の現金化というヤミ金融に類似する手口の利用も増えている。最近、メディアなどで「ヤミ金のソフト化」がしばしば指摘されるが、ヤミ金融から借りて後悔しているという声が減っているという調査結果も注目される。ただし、生活費補てん目的の借入については、借りたことを後悔する人がむしろ増えており、違法業者も相手を見て貸し方を変えている可能性が指摘されている。

両調査の主な結果は、以下のとおりである。

- ・ 2007年と2008年を比較すると、ヤミ金融に接触したのは、10.2%から11.1%に増加。ヤミ金融から実際に借りた人は、2.8%から3.6%に増加。
- ・ 2007年と2008年を比較すると、「消費者金融から希望通りに借りられなかった」という人で、ヤミ金融に接触したのは、30.1%から34.4%に増加。ヤミ金融から実際に借りた人は、9.4%から16.5%に増加（図表14）。

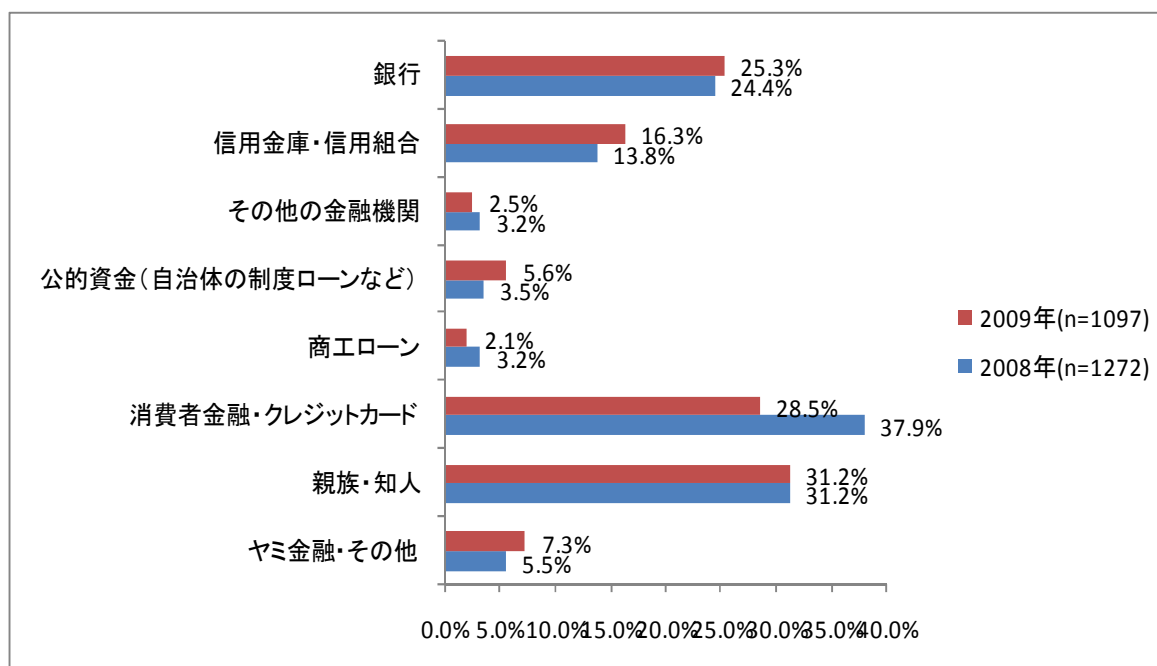
図表14 消費者金融への申し込み結果別によるヤミ金融との接触率と被害率



出典：堂下・内田（2009）

- ・ 「消費者金融から希望通りに借りられなかった」時、生活経費や娯楽関係費の目的で融資を拒絶された利用者では「買おうとしていたものを我慢・節約」の割合が高い。一方、子供の教育費、医療費、冠婚葬祭費、事業資金の補填目的で申し込んで拒絶された利用者では、「親族・知人からの借入」または「ヤミ金融からの借入」の割合が相対的に高い。
- ・ ヤミ金融から借りた人は、どういう理由で借りたのか。1位：子供の教育費（54.2%）、2位：旅行・レジャー費用（50.6%）、引越し代（47.3%）、4位：冠婚葬祭費（46.6%）、5位：医療費（45.3%）。必要に迫られた資金需要者がヤミ金融を利用した可能性大。
- ・ 消費者金融の現在利用者が保有する借入残高は、消費者金融会社からが平均 116 万円（2007 年）から 98 万円（2009 年）に減少したが、銀行カードローンが 72 万円から 88 万円、親族や友人からの借入が 184 万円から 215 万円に増加。
- ・ 零細事業主が直近 1 年間で資金調達したうち、つなぎ資金（返済期間 6 ヶ月以下）の借入先として、消費者金融・クレジットカードは 37.9%（2008 年）から 28.5%（2009 年）に減少。ヤミ金融・その他が 5.5%から 7.3%に増加（図表 15）。

図表 15 直近 1 年間で零細企業が利用したつなぎ資金の調達先の変化

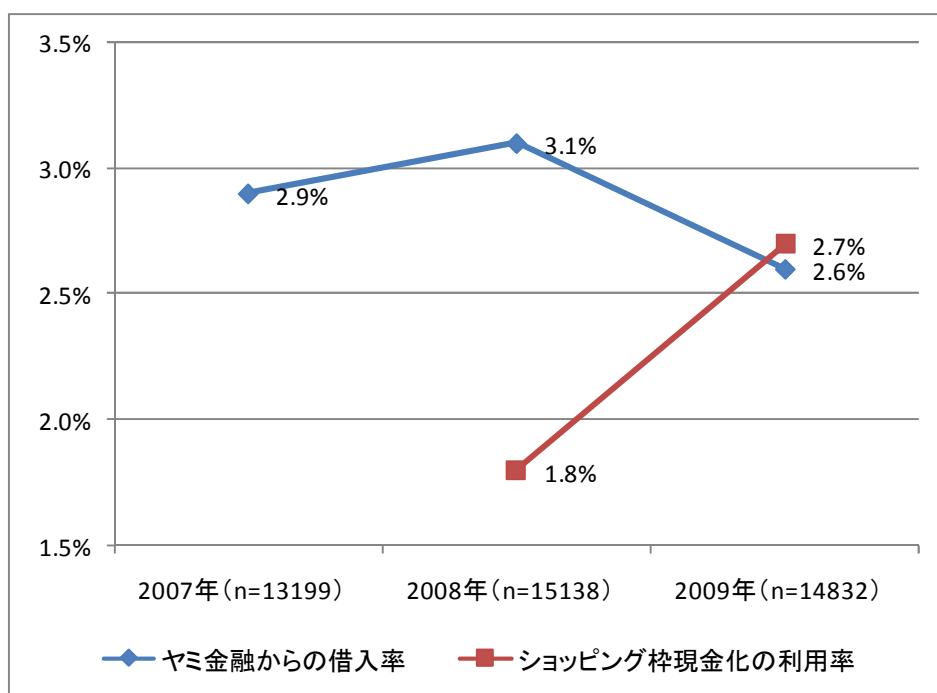


出典：Domoto(2009)

注 1 つなぎ資金調達者ベースで集計。なお零細事業主のうち 24.4%がつなぎ資金を利用。

- ・ ヤミ金融からの借入率は、2.9%（2007 年）から 3.1%（08 年）に上昇、翌年は 2.7%（2009 年）と減少。一方で、ヤミ金融の派生形であるショッピング枠現金化の利用率は、1.8%（2008 年）から 2.7%（2009 年）に上昇し、ヤミ金融からの借入率の減少分を吸収する勢いで増加（図表 16）。
- ・ 2008 年と 2009 年を比較すると、ヤミ金融の借入経験者全体では「ヤミ金融に手を出した後悔」と「金利が高く返済が大変」の回答率はともに 10 ポイント以上も下落し、ヤミ金融のソフト化を裏付けている。しかし、消費者金融からの融資拒絶後に「生活費の補てん」目的でヤミ金融から借り入れたグループでは、「ヤミ金融に手を出した後悔」と「金利が高く返済が大変」の回答率は逆に上昇した。

図表 16 直近 1 年間におけるヤミ金融からの借入率とショッピング枠現金化の利用率の推移



出典：Domoto(2009)

注 1 2007 年のショッピング枠現金化の利用率は未調査。また 2008 年の同利用率は追加調査（n=1200）による推計値。

3. ヤミ金融相談サイトのテキスト分析

今回、早稲田大学消費者金融サービス研究所では、ヤミ金融の実態を明らかにするために、インターネット上でのヤミ金融に関する相談サイトからテキスト分析を行った。

(1) 分析方法

インターネット上ではヤミ金融に関する情報を共有・相談することのできるサイトが複数存在し、ヤミ金融に関わった人がその不安を相談し、経験者にアドバイスを求める場が存在する。

インターネットが一般化する以前はヤミ金融利用者間の横連携はほとんど無かったと思われるが、現在、多くの情報がこのような相談サイト上で共有されており、その生の声を分析することで、ヤミ金の手口の分析を実施した。

複数のヤミ金相談サイトの質問部分（1153 件）のテキストを分析し、ヤミ金との関わり段階別に手口を抽出、分類を行った。テキストの分析にはテキストマイニング手法を用いて、文章の単語および係り受けを抽出し、カテゴリごとにキーワードを設定することで分類とマップ化を行った。

データ収集およびテキスト分析は、データセクション株式会社（〒106-0045 東京都港区麻布十番四丁目 1 番 8 号 三和第一ビル 2F TEL.03-5443-7001 林 健人 kento@datasection.co.jp、池上俊介 shun@datasection.co.jp）が行った。

(2) ヤミ金融相談サイト例

図表 17 は、典型的なヤミ金融相談サイト例で、通常、質問文とそれに対する返信から成っている。

図表 17 ヤミ金融相談サイト例



クレサラ闇金相談所 闇金被害専用相談板

http://www.kuresara.jp/bbs_yamikin.html

▼質問文

キャッシングツバキと言うフリーダイヤルで、携帯に着信あり、特別に 30 万融資出来ると話が、ありました。自分の個人情報、家族、嫁の実家、会社の上司の名前、仲の良い同僚の名前、携帯番号、免許証のファクスを送り数時間後、4 万円融資するが、信用情報調査費、16000 円引き、24000 円振り込みすると言われた。

これは、ややこしい奴に引っ掛かったと思い、断って電話を切りました。

すると次の日、携帯は拒否にしましたが、会社は何回も電話があり。上司から一度電話するように言われたので電話した所、もう振り込みしたと言われた。

昨日、断ったはずだと言っても、ご利用規約の確認で、はいと答えましたよね？と言い、とにかく、10 日後に、4 万円振り込みして下さいと言われた。

いや、明日にでも振り込みするので口座番号教えてくれと言っても前日に電話してくれと言われた。

翌日、警察に届けて会社にも話しました。家族にも。

それからは、着信拒否してます。

(後略)

▼質問に対する返信

一応、これまでの対応を見る限りでは、ほぼ適切な対応をとられているようですから、今後も後暫くは同じような対応で、徹底的に無視をするようにして下さい。

後、会社関係に嫌がらせの電話をかけて来る場合には、業務妨害になっているので止めないと警察へ訴えます！等とでも言って、後はガチャ切りで構いません。

それと、会社側の対応が適切でない場合、会社の業務自体に悪影響が出て損害が発生したりもしかねませんので、

会社の人に、当サイトのWEBサイトのFAQ等をご確認頂き、そこに書いてある会社関係への嫌がらせへの対処方法通りに対応するよう教えてあげて下さい。

(後略)

(3) 分析対象のヤミ金融相談サイト

本研究では、以下の8サイトを分析対象とした。

- ・ 闇金被害専用相談版

<http://www.kuresara.jp/yamikin.cgi/uhlrSfll5yWHk/tengoku.cgi>

- ・ 闇金融（ヤミ金融）対策掲示板

<http://jbbs.livedoor.jp/business/3743/>

- ・ 闇金相談室ブログ

<http://yamikinsoudanshitsu.seesaa.net/>

- ・ 闇金暴露掲示板

<http://p1.avi.jp/bbs2/66187/>

- ・ 体験☆報告

<http://m.z-z.jp/?Rt>

- ・ 借金問題☆相談

<http://m.z-z.jp/?Rs>

- ・ 闇金融詐欺対策掲示板

<http://m.kogumaneko.tk/epad/epad.cgi>

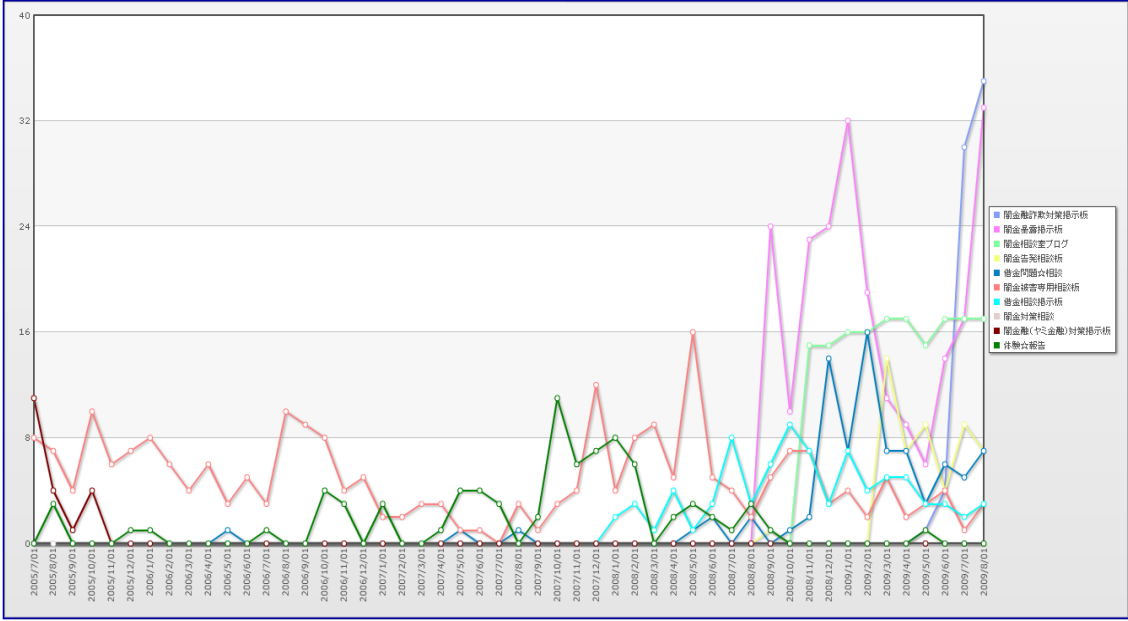
- ・ 借金相談掲示板

<http://o.z-z.jp/?taka910>

計8サイト 1,153 コメント (質問のみ対象)

図表 18 は、分析対象のヤミ金融相談サイトの書込み数を時系列で示したものである。各サイト月数件～10 件程度の質問投稿数が標準であるが、サイトによっては月 30 件近い投稿がある時期も存在する。また、2007 年中頃から増加が始まり、2008 年中頃から急増していることが見てとれる。

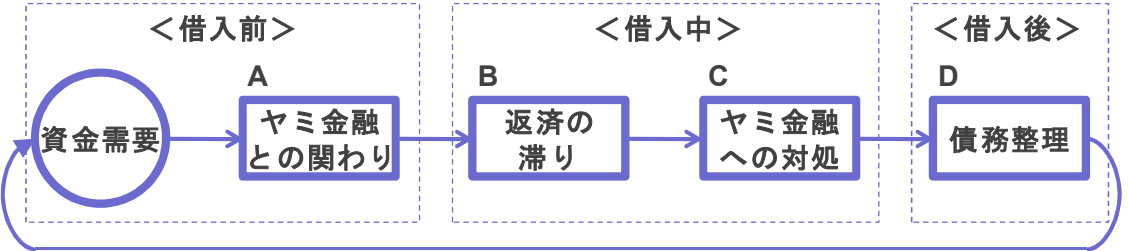
図表 18 分析対象のヤミ金融相談サイトの書込み数の推移



(4) 分析フレームワーク

本研究では、ヤミ金融の実態を把握するために、図表 19 のように、ヤミ金融利用者の借入行動サイクルを整理し、分析を実施した。実際のヤミ金融利用者の視点で分析することで、より実態に即した分類・分析を行うことができると考えたからである。

図表 19 ヤミ金融利用者の借入行動サイクル



借入行動サイクルに沿った分析ポイントを示すと、以下のようになる。

A. ヤミ金融との関わり

ヤミ金融事業者がどのような手口で接触するかを把握し、その事業者側の手口と割合を分析する。

B. 返済の滞り

借入を長引かせることを目的とするヤミ金融の手口を把握し、その事業者側の手口を分析する。

C. ヤミ金融への対処

関係性を終結させるために利用者が起こす対応方法を把握することでヤミ金融事業者への対応策を分析する。

D. 債務整理

債務整理後にヤミ金融事業者と関わりを持たなくなるタイミングを把握し、ヤミ金融から再び借入を行う人と借入をしない人のヤミ金融利用者プロフィールにどのような違いがあるのかを分析する。

(5) 分析結果

上述の分析フレームワークに基づいて8つのヤミ金相談サイトのテキスト分析を行ったところ、以下のような結果が得られた。

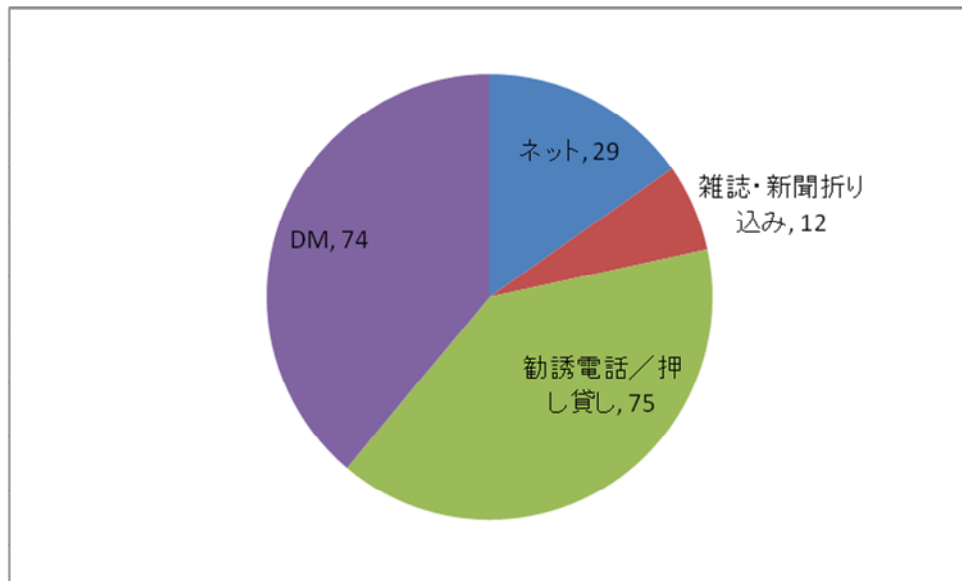
A. ヤミ金融業者との関わり

1) ヤミ金融業者との接触

「ネット」、「雑誌・新聞折り込み」、「勧誘電話／押し貸し」、「DM」等により利用者はヤミ金融業者との最初の接点を持つ。

図表 20 は、ヤミ金融相談サイト上で書かれた媒体と接触数を示している。「勧誘電話／押し貸し」および「DM」は過去、ヤミ金から借りたことがある人に向けて、同業者間で流出した個人情報を軸に接触している可能性が高い。また、「勧誘電話／押し貸し」は覚えのない押し貸しの電話に悩む相談が多い。この他に看板やビラなどの媒体も想定されるが、今回の対象では記述を見つけることができなかった。

図表 20 ヤミ金融業者への接触媒体数比較



ネット (29)

私は以前クレジットカードが延滞のため強制解約になったようで XXX のような有名な所で申し込みをしたら断られ、携帯ネットで見つけた所に借りれるか電話をしたら借りることが出来るとのこと。

ネットから登録業者に融資の申し込みをしてしまいました。でも必要なくなったんでキャンセルしました。でもそれから携帯に融資勧誘の電話がひっきりなしに。ほっといたら最近職場にも電話来ます。やはりキャンセル料とか、和解料とか。闇金って本人も言っていて警察は怖くないと。

雑誌・新聞折り込み (12)

新聞の折込に載っていた信販会社に融資の相談をした後から毎日のように色々な所から葉書がきます。その中の 都民信販 というところに目が止まり電話を掛けると135万円あっさりo kができました。

勧誘電話／押し貸し (75)

家の電話に変な電話があったんです。「あなたの申し込んだ融資枠がとれましたので手続きしてください。」とのことでした。

でも、身に覚えがないというと、「最近、こんなこと言う人がいてこまるんですよ。」と

言い出したんです。

確かに、私は、消費者金融に借金がありますが、いわゆる闇金から借りたことはありません。どこで情報が漏れたかわかりません。

DM (74)

先日、どうしてもお金が必要になり、以前DMで届いたところに融資の審査をしてもらいました。

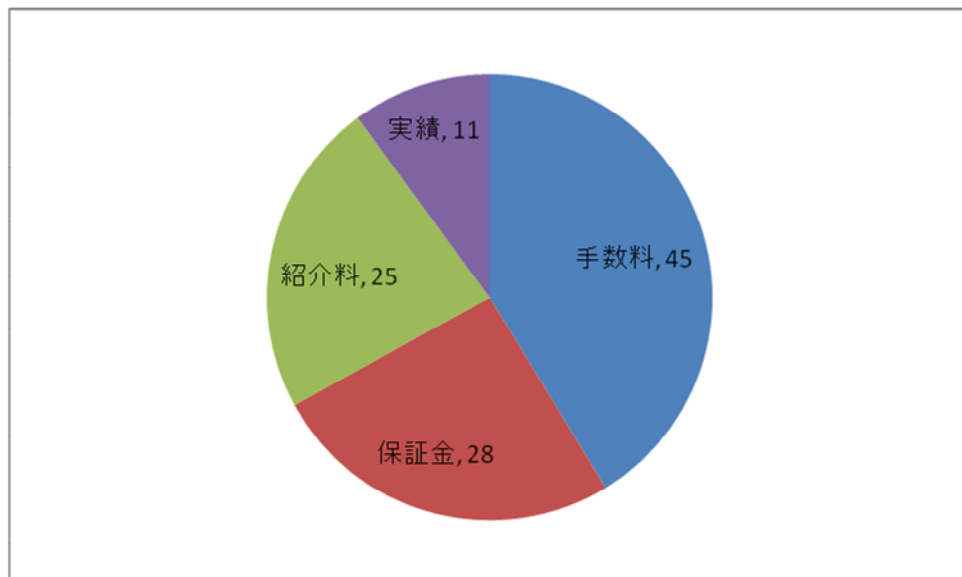
会社名等を伝えた所、ブラックなのに、いとも簡単に10万円なら融資できる。と案内されました。月々1万5千円の9回払いで完済との事でした。

なお DM を見てなどセンテンスが短いため、ヤミ金融業者との接触に関しては有為なマップは作成できなかった。

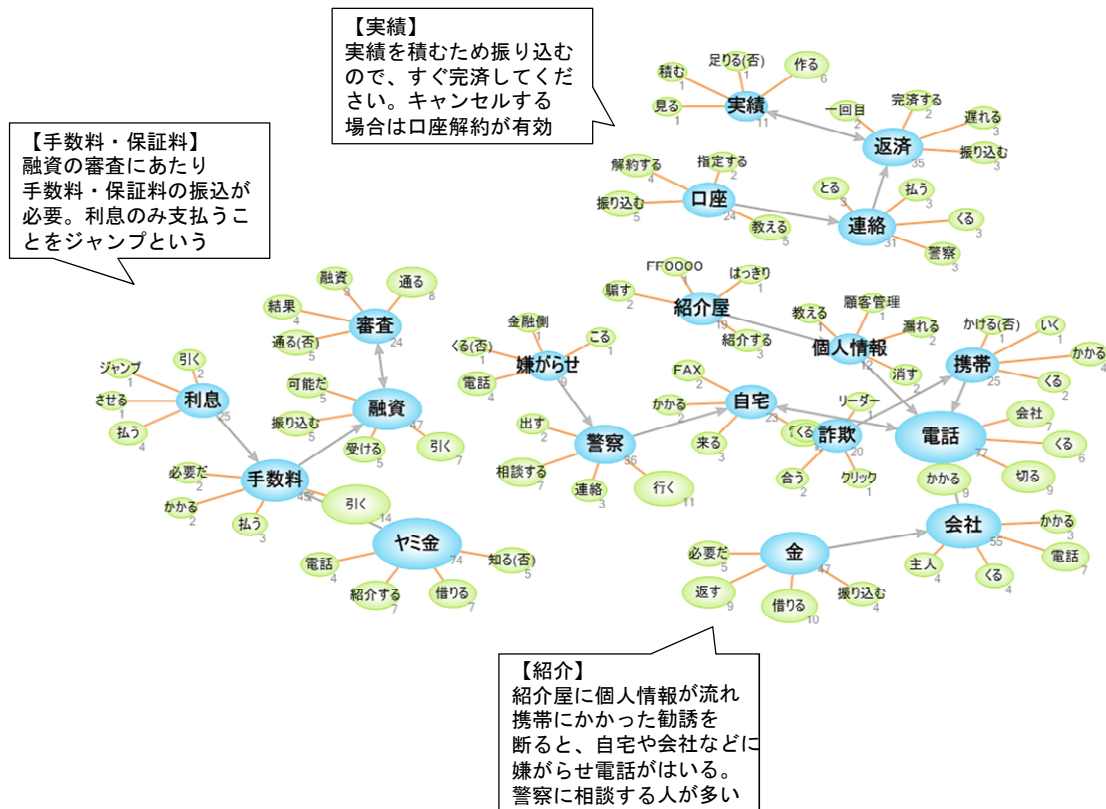
2) ヤミ金融業者の手口

一刻も早く借入を行いたい人の弱みに付け込み、融資の条件として、手数料、紹介料、保証料、実績という4手口が用いられている(図表21および図表22)。ヤミ金融業者が「振り込め詐欺」を行っていると言われているが、これらの手口は共通するものがある。

図表 21 ヤミ金融相談サイトでの詐欺行為数比較



図表 22 借りたい人への弱みにつけこんだヤミ金融業者の手口



手数料 (45)

先週の火曜日に闇金からお金を借りてしまいました。

送金完了しましたと連絡があり、その後 支払い期日など言ってきた時に、これって闇??とわかりました。

4 万から手数料をひかれて振り込まれ、明日 10 日に 6 万返済して下さいと言われました。前日 (今日) の 8 時半から 10 時までに、こちらに連絡下さい振り込み先を教えます。とのことでした。怖くて連絡してません。あちらからもまだ連絡はありません。

保証料 (28)

闇金に 30 万借りようとしてまず保証料 1 万円振り込んで下さいと言われ振り込みました。しかし何処かの会社が融資したとの情報があり、このままでは融資出来ませんのでそれを消去しなければならないので 3 万 5 千円必要になると言われ支払いました。しかしまた同じ事を何回か言われそのたびに支払いました。その支払った金は全部融資の時に戻りますよと甘い言葉に疑いもなく借りる為に必死でした。

やっと審査が通ったのでハイレナルプランナーさんに登録料として5万円入金してくださいと言われ振り込みました。3時までには振り込みしますと。3時になっても振り込まれないので電話したけど、もう繋がりませんでした。1ヶ月で50万やられました。

紹介料 (25)

お金がどうしても必要で申込んだら、いわゆる紹介屋でした。4件紹介してもらって2件審査が通りました。

しかしその紹介屋に30%も取られます。紹介屋を断っても大丈夫でしょうか。

実績 (11)

「融資可能か審査するので、実績を作ってください」と言われ、2万円振込まれ一週間後に3万円で返済することになっています。

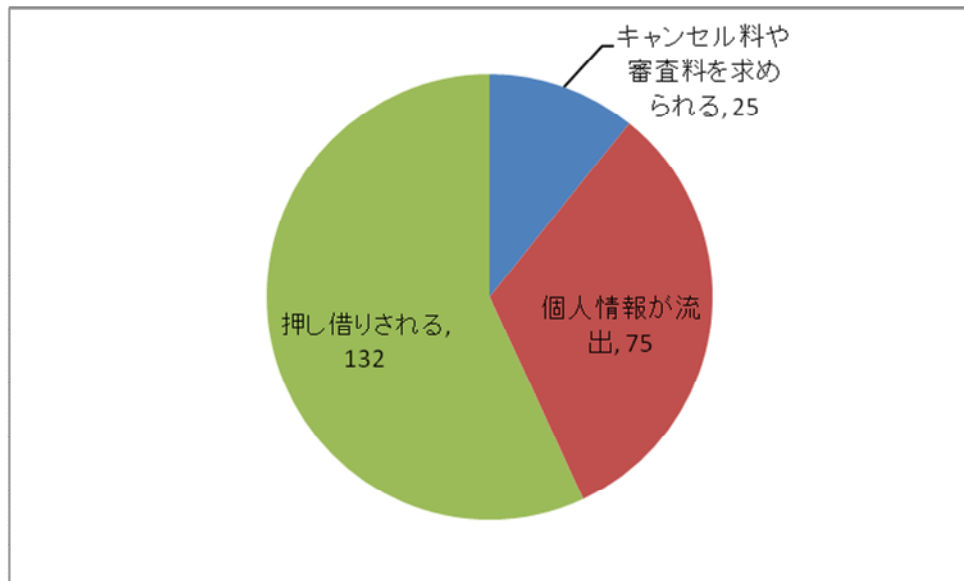
3万円返済したら絶対に融資してくれると言っていますが信用していいものでしょうか？

3) キャンセルへの対応と押し貸し

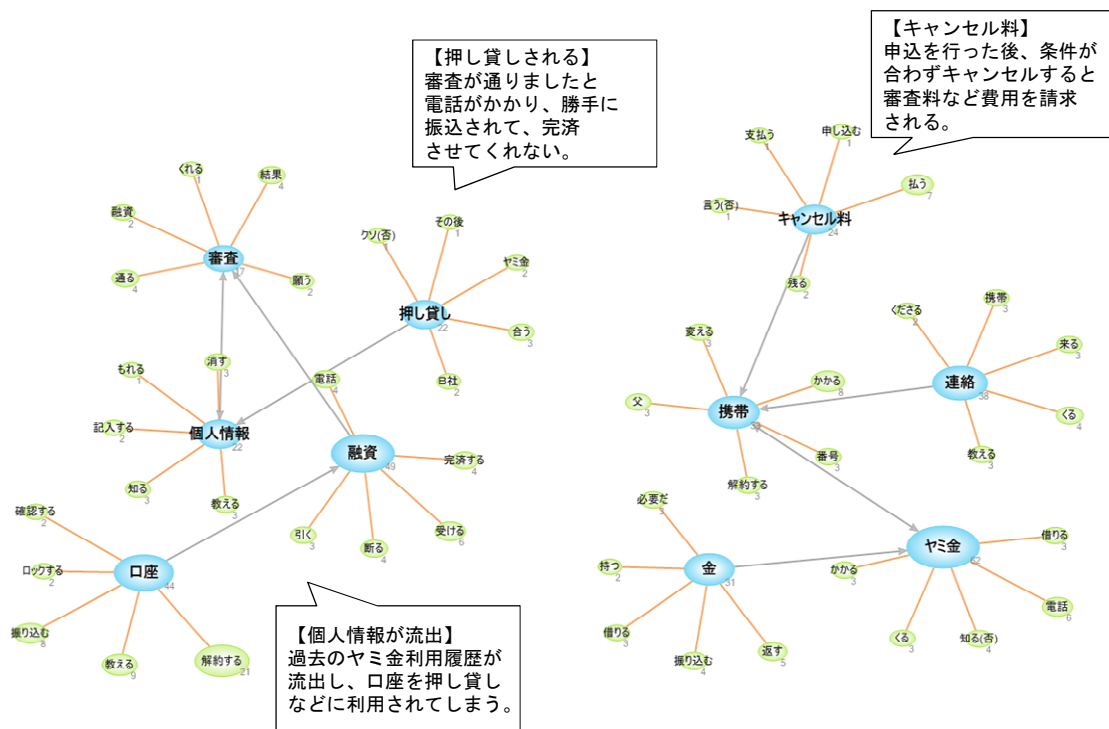
審査後、条件が折り合わずキャンセルした場合、手数料や押し貸しなどの手口が用いられる(図表23および図表24)。

個人情報話を話して審査を受けたものの、ヤミ金融だと知らなかったり、手数料や保証料などを求められキャンセルを行うケースが典型的である。ヤミ金融相談サイトでは押し借りについての相談が多く、完済しても再び口座に振り込まれ、永遠に利息を求められるケースもある。

図表 23 キャンセル時のヤミ金融業者の対応



図表 24 キャンセルへの対応と押し貸し



キャンセル料 (25)

職場に電話が掛かって来て出てしまい、保険料が払えないというと、キャンセル料を請求
(データ保存料1日25千円+融資金の10%)

15時を過ぎていたので、占めて55万)。キャンセル料も払えないと言うと、「では、事故扱いになるので他社借入れから一括請求が来ますよ。」との事。

個人情報流出 (75)

闇金とは知らず、携帯から申し込んでしまいました。

話を聞いて断ったのですが、キャンセル料など言われなくて終わることができました。

安心していたら、他の金融や興信所のようなところからジャンジャンかかってくるようになってしまいました。

これは個人情報がもれたってことでしょうか。

押し貸しされる (132)

2万円押し貸しされました。

今日3万5千円で完済したのですが『あと少し借りてもらえないか』と言われ『無理です』と断りましたが『2万振り込むから27日に3万5千円で完済して下さい』と言われました。

もしかしたら完済の日にもまた押し貸しされるかと思い昨日銀行を解約してきました。

実家も職場も伝えてしまっていますが実家にはさうゆう電話来ても相手にしないでって言うてありますし職場は今週で新しい職場に変わる予定です。電話も着信拒否してあります。

B. 返済の滞り

返済の滞りにおける特徴としては、次の2つがあげられる。

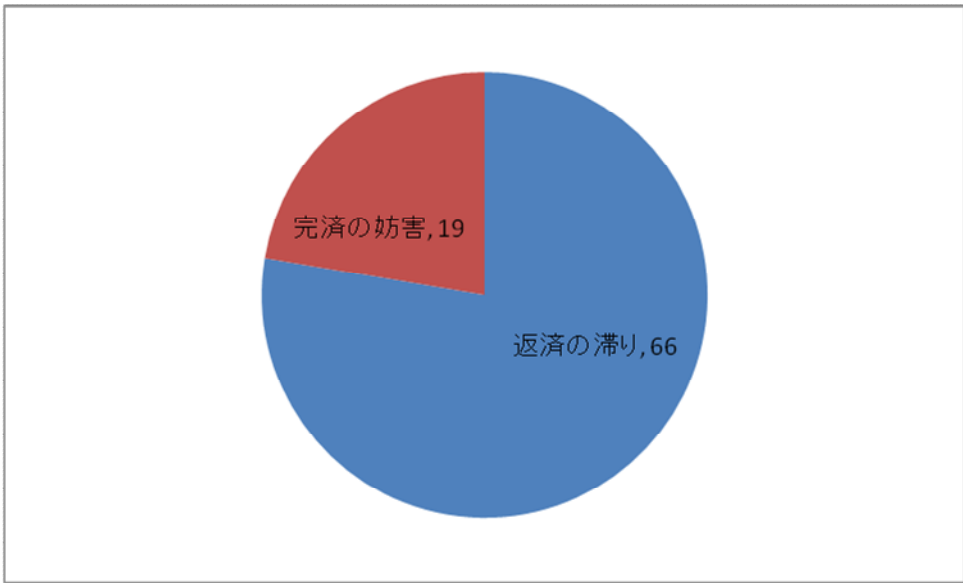
- ① 返済が滞る理由としては事業者側の手口の1つ「完済の妨害」があげられる（返済用の銀行鋼材の凍結、罵声等の何らかの手段による完済の妨害等）
- ② 高金利を少額にて継続的に貸し付けることにより長期間一定の返済を行わせ、すぐに破綻までは追い込まない傾向がある。

1) 返済の滞りと完済の妨害

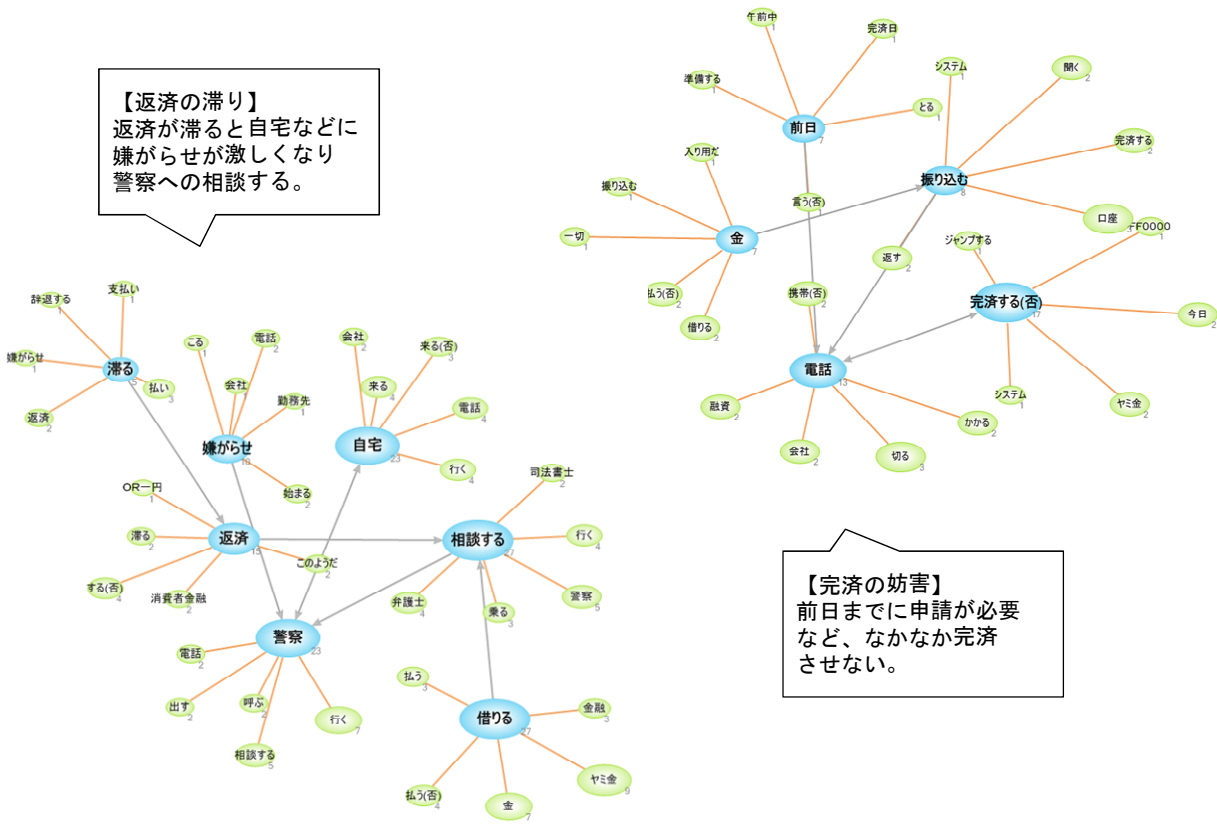
利息のみを元本以上支払い続け返済できなくなったり、完済しようとしても電話がつかない、振込先を教えない等で完済させてくれない（図表 25 および図表 26）

利用者は高金利により、利息のみを支払うジャンプを繰り返し、多重債務で身動きがとれなくなる一方、ヤミ金業者は、利息のみ受け取り、完済を妨害することで長期にわたり返済を続けさせようとするケースもある。

図表 25 ヤミ金融相談サイトにおける相談割合



図表 26 返済の滞りと完済の妨害



返済の滞り (66)

地元の闇金からお金を借りてしまい、今支払いで大変苦しんでいます。

五万円借りて五日後に六万円払うか利息の一万円払わなければなりません。

借りては返し、借りては返しで合計すると元金以上は払っています。

正確な金額は分かりません。すみません。

借りるのも返すのも人に直接会って手渡しです。もう払うお金もないし払えません。

無視したいのですが地元なので家に来ないかすごく不安です。元はといえば借りた自分は一番悪いんですが。これからどのような処置をすればよいのでしょうか？支払いが遅れる時は連絡すれば待ってもらえます。もう限界です。

私は今闇金と知らずに2社からかりました まとまったお金が必要だったのですが難しく少額から信用付けて行くとの事で口座に15000（登録料引）振り込まれ何日に15000別の日に15000, 3回目からは利息or元金込み完済という風に言われました。

ほぼ10日事に返済日がきて利息だけギリギリでした でも最近それもきつくなり延滞ちゅうです 電話連絡するのも怖くなってしてませんある時留守電に「連絡してもらわないと大変なことになりますよ」と入ってました。でもしてません。利息だけで10回ほど振り込みましたがこれからも払って行かないと行けないのですか？

どうしたらよいかわからなくなってますアドバイスいただきたいのですがお願いします。

完済の妨害 (19)

完済しようと入金したところ振り込み先の口座が凍結されていたらしく、時間内に入金確認出来なかったから延滞がつくと言われ、凍結している口座に振り込ませたのはそっちのミスで延滞は払わないと言ったら、じゃ分かりました。

今回はジャンプしてくれと言うので、そんなお金は払えません。

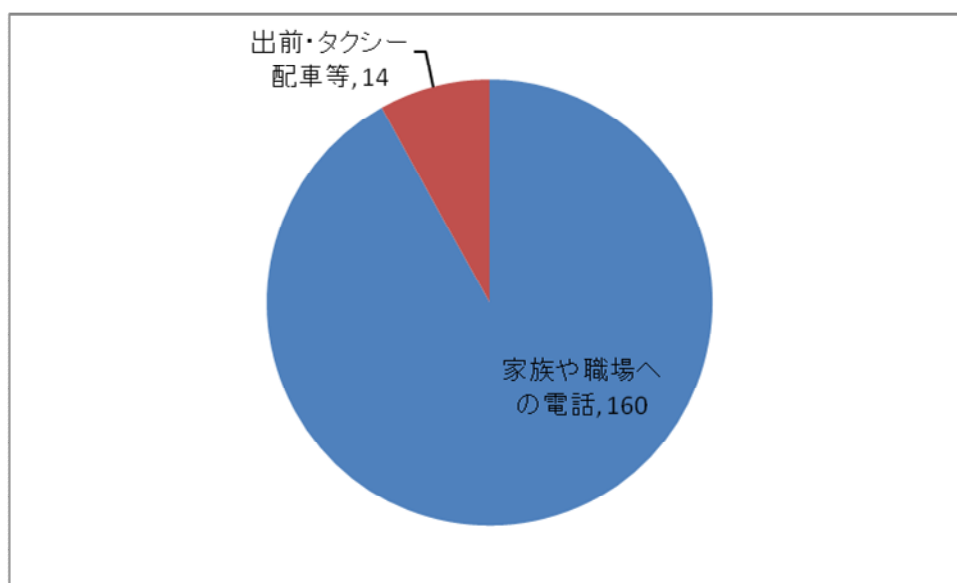
と伝え電話を切りその後家の電話も携帯もでないでいますが、主人の会社に電話がかかってきていて業務にも支障がでています。主人や身内、主人の会社には事情はすでにお話しており、会社にはあまりひどいようでしたら被害届けを出してくださいと伝えてあります。

金額は2万5千円なのですが、元金は2万円で1度完済しようとしたら前日連絡のときに言わないと完済できないと言われ前回利息分1万5千円と元金充当分で1万円、計2万5千円を振り込み、返済期日の昨日、この様な状態になりました。

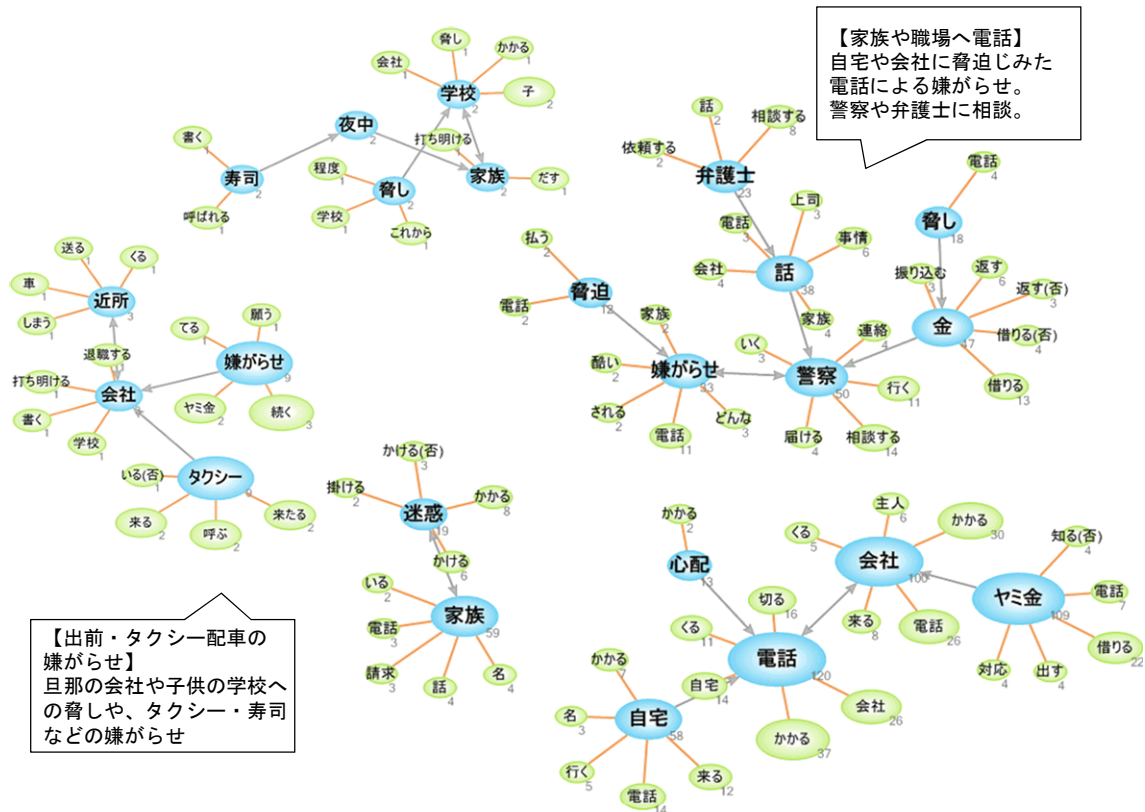
2) 家族や職場などへの電話と出前・タクシー配車等の嫌がらせ

返済が滞る気配や本人が電話に出ない場合、家庭や職場、親戚、子供の学校まで、罵声と脅しの電話が入る。また、自宅や親戚へのどなりこみや、ピザ、寿司、ソバ屋、タクシー、引越し屋などにイタズラ電話を入れられ大量の出前が届くことがある（図表 27 および図表 28）。

図表 27 ヤミ金融相談サイトにおける相談割合



図表 28 家族や職場への電話と出前・タクシー配車等の嫌がらせ



家族や職場へ電話による嫌がらせ（160）

ついこないだですがもう限界で2社に『もうお金が無いです。返せません』と電話したところ2社とも主人の会社に電話すると脅してきました。三万円借りた闇金から早速次の日に主人の会社に電話が行きました。その次の日には実家に電話が行きました。

でも両方共に借りてるとは言えずとにかく電話がきても知らないと言って電話を切って欲しいとお願いします。

電話がかかってきそうなところには私宛に嫌がらせの電話が来るから構わず相手にせずぐ切って欲しいと頼みました。

主人の会社も実家も相手にしないですぐ切るからといってくれました。

この前にどうしてもお金が必要だったので、自宅に電話があった業者から借りてしまいました。

30000円借りて返済が51000円で借りたのですが、連絡先のメモを私が不注意で無くしてしまい、今週の月曜の返済日に連絡がくるのを待ってました。が、連絡がきたら罵声をあびられ話を全然聞いてもらえませんでした。

その日の夜に主人宛に電話が来て居ないと言うと切られました。

それから連絡がなく、今日になって主人の会社の人間と名乗る相手から会社へ電話が入って困ると連絡がありました。業者の名前と携帯番号を聞いてあり、こちらからかけてみると「お前番号知ってるじゃないか」と言われました。

出前・タクシー配車等による嫌がらせ (14)

恐らく紹介屋からだと思いますが、電話があれば無視、ガチャ切りをしていたところ、少しの間は平静でした。

ところが、今日突然そいつらから電話があり、いつものように切って無視していたところ、タクシーが何台も来るわ、寿司屋が来るわ、引越屋が来るわ…。そいつらの仕業です。

警察には届けましたが、相手が携帯電話だけしかわからないのでは、特定できないし、被害届けも無理とのことでした。

こういう嫌がらせは、やはり何カ月かは続くものでしょうか。

仕返しなど考えてはいませんが、そいつらを探し出すのは無理でしょうか。

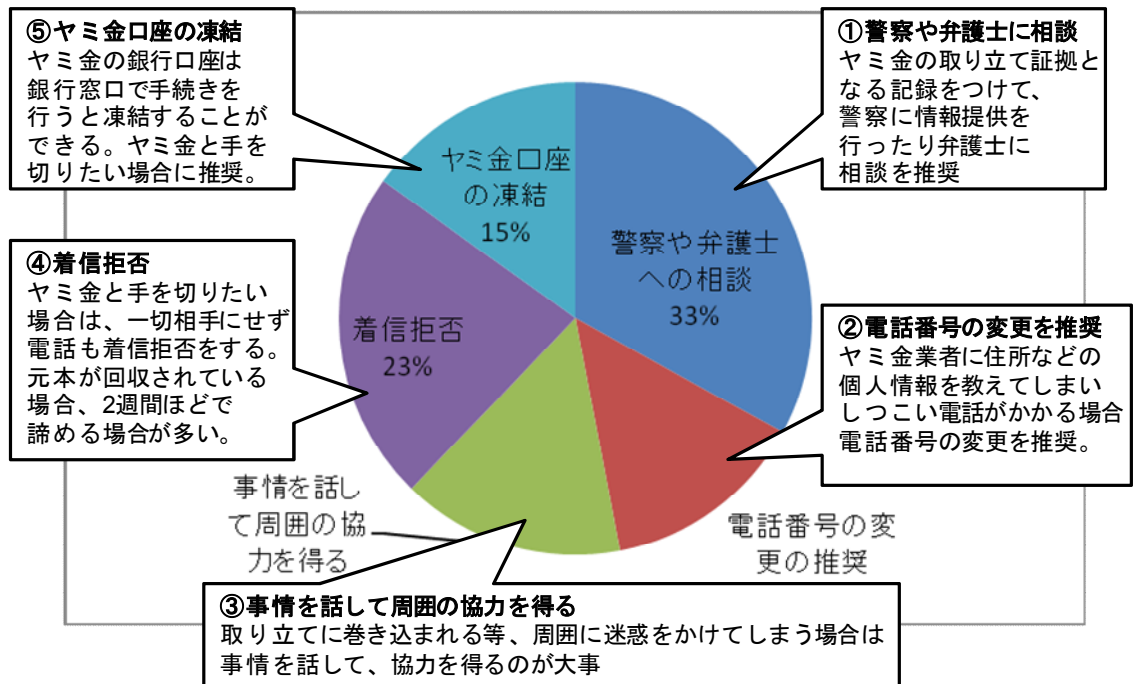
対策として、やはり基本的に無視、無視の連続でよいでしょうか。

C. ヤミ金融への対処

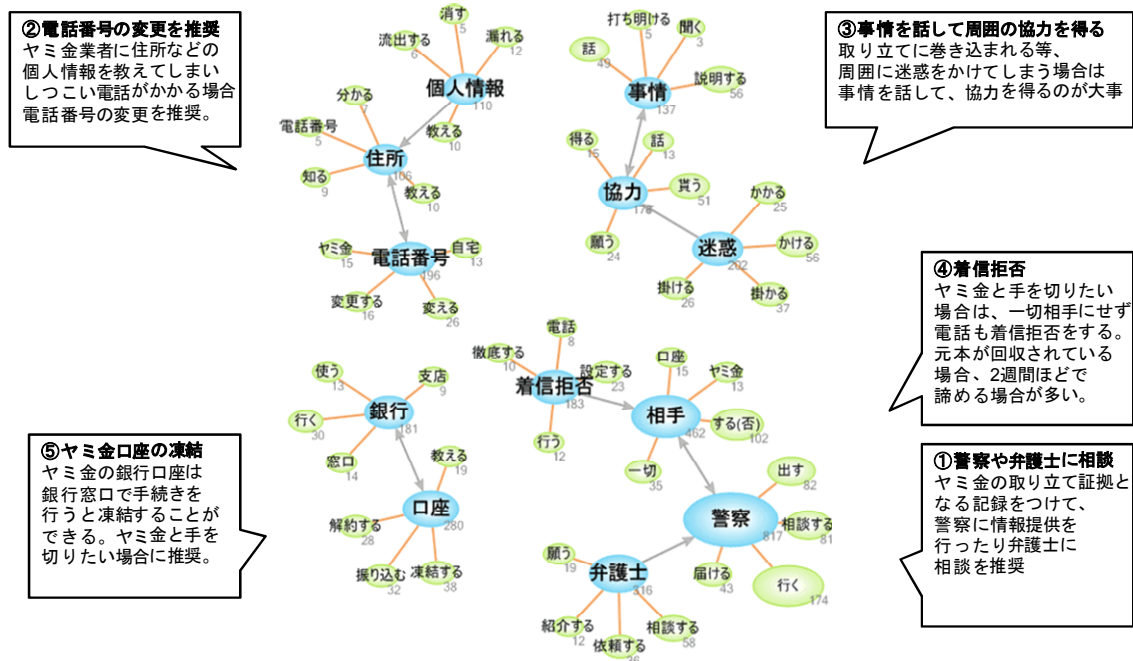
ヤミ金融への対処方法としては、「警察や弁護士への相談」、「電話番号の返納」、「家族や職場からの理解」、「着信拒否」、「ヤミ金融口座の凍結」がアドバイスされている（図表 29 および図表 30）。

しかし、現実的な実行フローまでの明確な手法についてはあまり見られない。たとえば、警察に相談しても取り合ってもらえないケースが多くあるが、どのように話したら警察が真剣に取り合ってくれるかについての具体的な方法は出てこない。

図表 29 ヤミ金融相談サイトでの相談に対してのアドバイス



図表 30 ヤミ金湯への対処 トピックマップ



警察や弁護士に相談

2009/1/9

今現在闇金から借りてしまったところが6件あります。

返済に困り、気がつけば大きく件数が膨らんでしまい会社や友人・身内は勿論親戚に連絡がいつてます。

自宅にはタクシーが来たり、電報が届いたりしてます。

まだ家に直接取り立ては入っていないですが困ってます。

偽善としてはいますが自分で作ってしまったきっかけで、弁護士と警察には相談しました。物凄く怖いです。

会社も今月で退職……。仕方ないです。どうすればよいですか？もう嫌がらせ2週間以上続いています。

【闇金被害専用相談板】

2008/5/15

昨年の2月頃にある会社に入金の申込みをしました。

業者からの留守電が入っており聞いてみると男性の声で怖いと思ったのでその後こちらからは一切連絡もせず借りてもいません。しかし今年の3月に急に職場に個人名で電話がかかってきて話しをすると申込みしたんだから借りろよ！

と怒鳴られました。

必要ありませんからと言うと家まで行くぞとか生活出来ないようにしてやるぞとかさんざん脅されました。

あまりにも怖かったので職場の人に助けて下さいと言ったら電話は切れその後普通に生活してたのですが、昨日と今日、また職場に電話がかかってきたのです。

状況を知っていた職場の人だったので私には繋がず切ってくれたのですが明日もかかってくるのか、また他の手段に出てくるのか不安でたまりません。

3月の時に警察に相談しその相手が言っていた名前・携帯番号等の情報を提供しました。

借りていないのに嫌がらせされる事もあるんですね。今後どのように対応していけば宜しいのでしょうか？

アドバイスをお願いします。

【闇金被害専用相談板】

2008/11/27

私は、10年くらい前から消費者金融と取引があり、去年過払いの事を知り、一時は7件あったのも残り1件までになり、もう二度と借金生活はしないようにと心に決め日々生活

しておりました。

ところが、先日いきなり勤務先に闇金から電話があり、以前うちの系列で申し込んで枠とってあるのにどうして借りないんだと言われ、借りないのならキャンセル料払えと言われ、そんなものは払えないと言うと、家族をボロボロにしてやると言われました。

もちろん闇金には、申し込んだことも借りたこともありません。

1年位前から自宅によくDMなどは来ていましたがすべて無視していました。

会社の電話は、ナンバーディスプレイや録音機能などはついておらず脅迫の証拠や相手の番号などはわかりません。

その後警察に相談するも、弁護士会の無料闇金相談番号を教えてくれて終わりでした。

弁護士会のほうは、無視すること、これ以上個人情報を外に出さないことなどを言われましたが、最後に電話番号と住所を聞かれたので答えました。

自分だけならまだしも、家族や会社には絶対に迷惑はかけたくありません。

どうすれば、よろしいでしょうか。

ちなみに闇金のほうは、自宅の電話、住所、携帯番号も知っていました。

【闇金被害専用相談板】

電話番号の変更を推奨

2005/5/31

業者を一切相手にしない事**電話番号**を変えるなり、着信拒否をする等し、徹底して相手にしないようにして下さい。

会社等に嫌がらせの電話が多いようなら、上司に相談し、会社法人から業務妨害等で被害届を出して貰うとか、業者へ対し、これ以上続くようなら、会社から業務妨害で法的に訴える措置を執る等も検討している等と言うような事を業者へ対し臭わせてやると宜しいかと思われます。

【闇金被害専用相談板】

2008/3/5

もう返す義務は無い事を告げると私の周りの人間（妹、親の携帯や職場等）に嫌がらせの電話や頼んでも無い、宅配業者やデリヘル等を使って嫌がらせをします。

私や妹は携帯番号を変えましたが、職場は変える訳にもいきません。

すぐ警察の生活安全課に相談しました。

後で闇金の方に嫌がらせを辞める様に電話で連絡しますと言って頂きましたが（本当に電話を掛けたのか分かりませんが）、嫌がらせは止みません。

やはり、無視や**電話番号**を変える方法しか手は無いのでしょうか。

【闇金被害専用相談板】

2005/5/9

僕は今になってつくづく愚かな事をしたと猛省しています。
いい機会なのでもう一度自分の生活のプランを再考して2度とこのようなことのないようにします。
お金は重たいものでした、、、今日も何とかお金を作り入金しました。
中には法外な延滞料なるものを要求してくる業者もありますが、元金以上は払う気はまったくありません。
弁護士さんにおまかせした業者から着信がありましたが、対応していません。
また新たな勧誘の電話も何本か入っていました。
電話番号も変えてしまう必要があるみたいです。

【闇金被害専用相談板】

2005/8/1

闇金は、貸した時点で違法です。
返さなくて良いんです。
それを「借りたものは返さなくては…」と考えた私は、地獄に落ちました。
私は8件どころではないです。
連絡を断ち切るのは、電話番号を変えるか着信拒否をすると言う事です。
電話番号を変えなかった、闇金と連絡を絶たなかった私は2次3次の被害を受けました。

【闇金被害専用相談板】

事情を話して周囲の協力を得る

2008/5/24

ケイタイが通じなくなると職場への電話が増えてしまうのではないかと他の人の相談スレッドをご覧になると解るかと思いますが、一度闇金に情報を流してしまった時点で既にアウトみたいな状態になっているのです。
遅かれ早かれ、情報が漏れている範囲の所には嫌でも嫌がらせは来るモノと言うような認識をお願いします。
その為、無駄に体力を削られる前に、断固として貴方が闇金を断ち切る為に、腹を決めて戦う必要が出てきます。
職場等には、嫌がらせが始まる前に、自分から自己申告により会社の上司の方へ事情を説明しつつ平謝りで、同じような対応をして頂けるような協力を取り付けて下さい。

これは貴方の弱点を弱点ではないようにする上でも大変大事な事でもあります。
多少は怒られたり恥をかくと思いますが、嫌がらせが始まってばれた後で怒られるのとは何倍もの差が出ますし、下手したら会社を首にさえなりかねないのです。
自分や周囲のこれからの将来を守る上でも、腹をくくって迅速に取り組むようにして下さい。

【闇金被害専用相談板】

2007/12/5

絶対に今後は一円たりとも闇金にはお金を払わないで下さい。
また、闇金関係の電話や、番号非通知の電話、知らない番号からの電話等の着信拒否を徹底し、闇金との接触を完全に断ち切る方向で対処して下さい。
また、闇金に貴方が情報を渡している中で、会社や親類など、迷惑の掛かりそうな所があるのであれば早急に事情を説明し、その上で謝罪をしつつも協力を頂けるようにして下さい。

【闇金被害専用相談板】

2008/8/30

闇金相手に完済もクソありません。
ハナから違法行為により貸し付けている訳ですから、貴方は元金程度を帰したら、後は一切の関係を遮断すると言うような構えで十分です。
尚、最近の判例では、既に元金自体も返済する必要性が無いと言うような判断が示されています。
周りにもっと迷惑かける事になりますし迷惑が掛かると解っている相手がいるなら、迷惑が掛かる前に自分から事情をよく説明した上で謝罪し、その上で協力を頂けるようにしておくのが貴方のベストな動き方かと考えます。
もしご理解とご協力を頂けたなら、幾ら闇金が底へアプローチを掛けてきても、既に貴方自身の中ではその弱点が補われて消えている訳ですから何かダメージを受ける事も無くなります。
ダメージを与えられない相手からはお金を搾り取れませんから、そういう相手からは闇金も自然と遠ざかって行きます。
自殺を考えたり全てを捨てて夜逃げするような事を考えている程でしたら、これ位の処理はそういう事に比べれば、何でも無い簡単な事ですよ？

【闇金被害専用相談板】

着信拒否

2005/5/9

一切相手にしないスタイルが大事です。

また、業者はあの手この手で貴方にお金を払わせようと、あらゆる努力をして貴方やご家族、親類や会社、友人知人等へ対し嫌がらせ等を行う事も十分考えられます。

予め、貴方の弱いウィークポイントは潰すべく、身内や迷惑の掛かりそうな所には今日にでも出向いて説明するなりし、協力して頂いたり、決して相手にせぬようお願いしておかれるのが宜しいかと考えます。

【闇金被害専用相談板】

お子さんを預けている保育園とご主人の勤務されている職場の方には、遅かれ早かれ嫌がらせが行く事になると思いますので、嫌がらせが行く前に貴方からご主人に事情を話した上で、職場に嫌がらせがかかってきたら相手にしないとか、余りにも嫌がらせが非道い場合、会社として警察等へ業務妨害として被害届を出したり刑事告訴を行うような処理をして頂けるようご理解を仰いで下さい。

また、保育園の方にも同じような理解と協力を求める為の処理を早々に行って下さい。

シカトを決め込んだ方が無難でしょうか？

闇金の方は、もう金輪際、一切相手にしないようにして下さい。

貴方も家庭崩壊で一家離散とか、人生棒に振りたくは無いですよね？

【闇金被害専用相談板】

2006/8/3

このまま様子を見るというのはあまりに危険なことでしょうか？

いえ。

このまま相手にせず少し様子を見るだけで構いません。

もしまた何か相手からアクションでもあれば、その旨をまた教えて頂ければ適切な回答を差し上げる事が出来ると思いますので宜しくお願いします。

【闇金被害専用相談板】

2006/11/6

私は腹をくくって戦うことにし、会社・家族・関係するところ全てに事前に頭を下げ事情を申し上げ、「自分は決して払わない」という意思とその代わり電話などご迷惑をおかけす

ることを申し上げ、私の場合は例えば会社が電話は全て総務のある方へまわしてもらい対応、実家には地元警察に相談に行ってもらい、不明な電話には一切出ないなど・・・してもらいました。

最初の1週間は集中的に脅しの電話が色んな所にありましたが、事前に言ってありましたので基本的には相手にしない、自分は携帯の番号を変え、自宅に来たときも一切無視！

自分の地元警察に相談し、悪質な取立てで自宅などにきたらすぐ連絡を・・・と刑事さんの携帯など教えてもらい、対応しました。

実際は2回ほど自宅にきましたが、1ヶ月後には電話も、自宅にも一切なくなりました。正直その1ヶ月は怖いのと周りに申し訳ないので、かなり参りましたが、結果的には良かったと思ってます。

【闇金被害専用相談板】

ヤミ金口座の凍結

2009/7/14

口座等を凍結した後に「振込め詐欺被害返金制度」と言う処理をしてお金が返ってきた闇金被害の方はいるのでしょうか？

いると思われます。

この処理で最も大事な事は、悪党が対象口座を凍結される前に残っている資金を引き出すか、それを食い止め引き出させないかで結果は大きく変わってきます。

例えば、口座に莫大な資金が入っている状態で凍結に成功したなら、貴方や他の被害者の方が、私は被害者ですと名乗りを上げてさえいれば、最後には被害者全員で口座に残された資金を被害額に応じた比率で分配し分け合うような事で返還されます。

逆に、口座の凍結はしたが、悪党が凍結されるより早く資金を全て引き出していた場合、残念ながら、口座を潰すのみで、被害に遭った金額自体は戻る見込みはありません。

尚、このような天地ほどの差が出てしまいますから、口座の凍結は、銀行経由で振り込め詐欺救済法に基づいた処理で2ヶ月後に公示後凍結と言う路線では無く、警察から銀行へ対し、捜査関係事項等照会書を回して頂き、早急にその時点で口座を凍結するよう処理する事が大事です。

【闇金被害専用相談板】

2008/1/3

口座の凍結は、警察の方へ捜査事項等照会書を口座のある支店の方へ回して頂けるようお願いして下さい。

また、携帯電話の方は、本人確認を警察署長の権限により携帯会社へ要請できるようにな

りましたので、それを利用して飛ばしの携帯は早急に契約を強制解除するよう口座の凍結と併せてお願いしてみてください。

【闇金被害専用相談板】

2006/2/1

闇金業者とは、法の淵の外側を歩いているような無法者の連中ですから、法的な言葉を少し投げた位では怯みません。

業者と手を切るには、徹底した遮断措置と此方からの逆攻撃を仕掛けるのが効果的です。

まあ、暴力的な攻撃をすると闇金同様になってしまいますからそういう攻撃は行いませんが、合法的に闇金には仕事をさせないとか、出来なくするような路線を徹底して行う事と言うような攻撃が効果的ですね。

後は何とか警察の捜査案件にするべく告訴する等で、闇金を潰す方向で攻撃するのがベストです。

もし振り込みで支払っていたのであれば、明日にでも直ちにお金を振り込んでいた銀行に行き、組み戻し処理を行って下さい。

闇金業者だった！

騙された！

等とでも言えばすぐしてくれると思いますので。

後は、その足で警察署の闇金担当者の元に行き、闇金に関する情報を出来るだけ多く渡し、口座の方も捜査照会書等を送ってすぐに口座を凍結でもするようにお願いすれば宜しいかと思われます。

【闇金被害専用相談板】

D. 債務整理

ヤミ金融からの借入の完済や整理をすることができても、以下のようなリスクがある。

- ・ 個人情報流出し、DMや勧誘電話等の対象になる可能性がある。
- ・ 押し貸し、紹介屋、ブラックリスト消去等の詐欺対象になる可能性がある。

分析対象とした 1,153 人のうち 241 人は、債務整理中または債務整理後に再びヤミ金融から借りてしまっていた。

再び借りてしまう利用者のプロフィール (241)

私は現在債務整理中で（弁護士付けず）生活費に困り先月とうとう闇金に手を出してしまいました。瞬く間に膨れ上がり借入が現在 10 件になってしまい困窮している状態です。

今のところ会社の同僚や友人から借金して払ってはいますがもう限界です。地域柄弁護士

や司法書士の数が少なく相談も予約でいっぱい1ヶ月も待たされる状況です。何とかいい打開策があれば教えて下さい。

以前、多重債務を抱え、どうにもならなくなり、自己破産をしました。
それ以来、借金は絶対にしないと誓ったのですが、会社倒産の憂き目に会い、身内や友人からの援助でやりくりしていました。何とか再就職できたけれど、収入が少なく、生活を切り詰めても、どうにもならなくなり、前から来ていた、融一件が二件、と雪崩のように、たちまち十件になってしまいました。最初の話では低金利でしたが、実際は高金利のヤミ金でしたので、返済の督促電話が次から次へとなり、ノイローゼ状態になってしまいました。

私は今債務整理中でどこからも借り入れ出来ない状況です。

8月にどうしてもお金が必要になり、サイトで見つけたところから、高利なのをわかりつつ借りてしまいました。

完済すればいいだろうと思いつつも、実際は利息を払っていくのがやっとでした。

それもそのうちに利息も払えなくなりちょっと待つて欲しいと言ったところ、会社に取りに行くとか、口座を渡せばと言われ利息を返すために又別のところから借りて…というような事を繰り返し、5件になってしまいました。

一件を除き、他は元金以上に払っています。

友人の携帯を教えたところもあるので、友人に訳を話し謝罪して知らない番号には出ないようにお願いしました。

もうこれ以上は払っていけないので、明日警察に行こうと思っています。

嫌がらせは覚悟の上です。

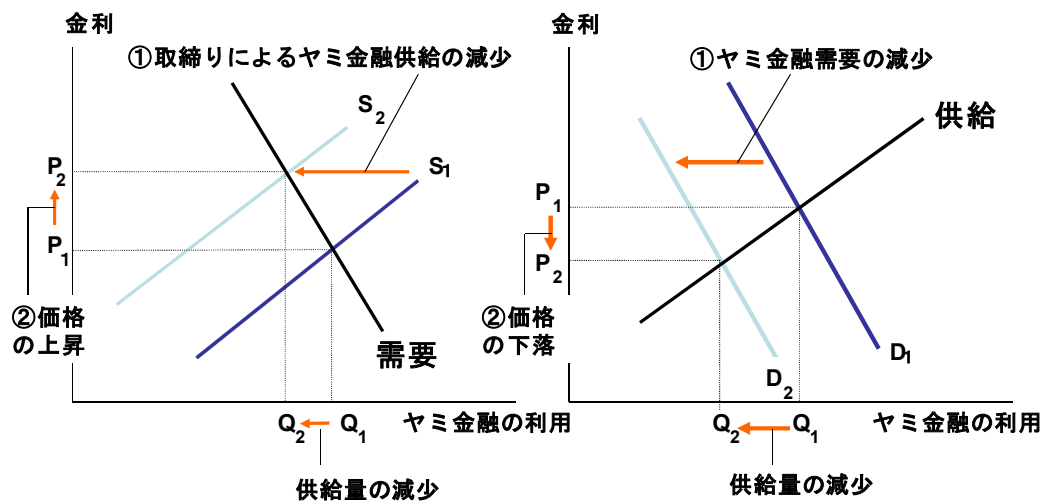
4. 違法金融の利用を減らす政策

違法金融の利用を減らす政策としては、警察の取締り強化があげられるが、それだけではなかなか減らない。ヤミ金融相談サイトでは、解決策として、警察への相談、電話番号の変更、周囲に事情を話すなどのアドバイスがなされているが、警察も簡単に動いてくれるわけでもないなど、決定的な手立てとはいえない。そもそもヤミ金融利用者から警察への届け出がなければ、警察も動けない。また取締りを強化すると、違法金融業者の手口が巧妙化し、さらにヤミに潜ってしまう。

違法金融の利用を減らすには、供給を減らすか需要を減らすかのいずれかしかないが、

後者のほうがはるかに有効である。

図表 31 ヤミ金融の利用を減らす政策



ヤミ金融に対する取締り強化は、図表 31 の左図が示すように、ヤミ金融の供給を S_1 から S_2 へと減少させる。もしヤミ金融の需要が非弾力的であれば、ヤミ金融利用者の支払う総額は、ヤミ金融の利用の減少にもかかわらず増大する。つまりヤミ金融市場は拡大してしまう。対照的に、図表 31 の右図が示すように、何らかの方法でヤミ金融の需要を D_1 から D_2 に減少させることができれば、ヤミ金融利用者が支払う総額が減少する。

ヤミ金融の需要を減らすには、教育や啓発活動などもあることながら、正規業者による供給を増やすことが最も有効な方法と思われる。

5. 結論

貸金業法の改正や過払い金総額の急増などの影響で、正規業者の市場が明らかに縮小し、資金供与機能が大きく低下している。その結果、自営業者や派遣社員など経済的弱者と呼ばれる人々に大きな影響が現れており、どこからも資金を借りられなくなった人々がいわゆるヤミ金融に流れている可能性が非常に大きいと推論される。

違法金融はヤミに潜ってしまうため、正確な統計を取ることはできないが、参考になるいくつかのデータや調査がある。

警察庁によるヤミ金融事犯の検挙状況では、検挙数、被害人員、被害額とも2003～04年をピークに減少している。また金融庁・財務局の無登録業者に関する苦情受付件数は、2007年と2008年ではあまり変化はない。しかし、ヤミ金融については、手口が巧妙化したこと

から、こうした数字に現れずに水面下に潜っている部分はかなり大きい可能性がある。

日本貸金業協会相談センターに寄せられた苦情・相談受付では、相談者の約 10 人に 1 人はヤミ金融関連の相談で、件数的にも依然として高止まりの状態である。

日本貸金業協会（2009a）によれば、個人（一般利用者）では、借入利用者（現在残高あり）の約12%はヤミ金融利用経験があり、3%は現在も利用中であった。資金使途は生活費の補てんが多く、緊急に資金が必要となり正規業者からの借入のできない場合にヤミ金融を利用する傾向があった。経営者・個人事業主では、借入利用者（現在残高あり）の約11%はヤミ金融利用経験があり、4%は現在も利用中であった。また、ヤミ金融利用経験者の属性は、個人および中小零細企業の経営者で75%を占めた。

堂下浩・内田治の3年にわたる調査研究からは、ヤミ金融業者に接触した人、実際に借りた人の比率が増加していることがわかる。正規業者から希望通りに借りられなかった場合にヤミ金融に接触したり借りたりした人がかなり増えている。またヤミ金融からお金を借りる理由の多くが必要に迫られた資金需要であること、零細事業主のつなぎ資金の借入先としてヤミ金融の比率が増加していることなども明らかになっている。

また、クレジットカードのショッピング枠の現金化というヤミ金融に類似する手口の利用も増えている。最近、メディアなどで「ヤミ金のソフト化」がしばしば指摘されるが、ヤミ金融から借りて後悔しているという声が減っているという調査結果も注目される。ただし、生活費補てん目的の借入については、借りたことを後悔する人がむしろ増えており、違法業者も相手を見て貸し方を変えている可能性が指摘されている。

今回、インターネット上のヤミ金融相談サイトのテキスト分析を行った。質問投稿数は、2007年中頃から増加傾向にあった。また、資金需要者の弱みにつけこんだヤミ金融の巧妙な手口の存在が明らかとなった。貸付金額自体は大きくないが、押し貸し、手数料・保証料の徴求、完済の妨害などの行為が認められ、需要者を破綻するところまでは追い込まないかわり、借り手の心情をよく分かっており、細く長く利益をむさぼっている姿が浮かび上がっている。また、コストを考えて労力のかかること、たとえば実際に出向いて暴力的な行動を取るようなことは少ない。そのため、違法金融が表に現れにくくなり、ますますヤミに潜ってしまっている。

サイトでは、解決策として警察への相談、電話番号の変更、周囲に事情を話すなどのアドバイスがなされているが、警察も簡単に動いてくれるわけではないなど決定的な手だてとはいえない。ヤミ金融の利用を減らす政策としては、警察の取締り強化があげられるが、それだけでは不可能であるか、コスト的に見合わない。違法金融の利用を減らすには、供給を減らすか需要を減らすかのいずれかしかないが、供給を減らす現実的な方策がないことを考えると、むしろ需要曲線を下げるほうがより手っ取り早くヤミ金市場を縮小させられると考えられる。それには教育や啓発活動などもさることながら、正規業者による供給

を増やすことが最も有効なことだと思われる。

参考文献

Domoto, Hiroshi (2009) Survey of the consumer loan market and illegal lending after the revision of the three principal statutes on money lending: Preliminary data, Working paper, IRCFS09-003, Institute for Research on Consumer Financial Services, Waseda University.

堂下浩、内田治(2009)「消費者ローン現在利用者の時系列変化に関する分析」,『2008 年パーソナルファイナンス学会年報』No.9, 61-75.

警察庁生活安全局生活環境課(2009)「平成 20 年中における生活経済事犯の検挙状況について」.

日本貸金業協会(2009a)「資金需要者等の現状と動向に関する調査」報告

日本貸金業協会(2009b)「貸金業者の経営実態等に関するアンケート調査」報告